



高齡者保健福祉施策調査報告書

概 要 版

平成 2 0 年（2008 年）3 月
新 宿 区

目次

調査の概要	1
回答者のプロフィール	2
調査の結果	6
1 一般高齢者調査	6
2 居宅サービス利用者調査	12
3 第2号被保険者調査	16
4 ケアマネジャー調査	21
5 介護保険サービス事業所調査	26
調査の比較	31

<本書のみかた>

- N,n は回答者の数を表します。
- グラフの中の数値は、回答率（単位：％）を表します。
- 四捨五入しているため、合計が100％にならないことがあります。
- クロス集計の表側（性別等の分析軸）からは性別等の無回答を除いています。したがって、各分析軸の有効数の合計は、全体（N,n）と一致していません。
- 本文及びグラフ中の設問文ならびに選択肢の表現は一部省略されています。
- コメントの文末にある問番号は、各調査の質問番号です。

調査の概要

1 一般高齢者調査

- 調査対象：新宿区に居住する要支援・要介護認定を受けていない 65 歳以上の高齢者 1,500 人
- 調査方法：郵送法（郵送配布 - 郵送回収）/督促礼状一回送付
- 調査期間：平成 19 年 11 月 5 日(月)～11 月 22 日(木)
- 調査結果：回収数 1,106 サンプル（回収率 73.7%）

2 居宅サービス利用者調査

- 調査対象：要支援・要介護認定を受けた居宅サービス利用者 1,500 人
- 調査方法：郵送法（郵送配布 - 郵送回収）/督促礼状一回送付
- 調査期間：平成 19 年 11 月 5 日(月)～11 月 22 日(木)
- 調査結果：回収数 1,034 サンプル（回収率 68.9%）

3 第2号被保険者調査

- 調査対象：新宿区に居住する第2号被保険者（40歳以上65歳未満）1,500人
- 調査方法：郵送法（郵送配布 - 郵送回収）/督促礼状一回送付
- 調査期間：平成 19 年 11 月 5 日(月)～11 月 22 日(木)
- 調査結果：回収数 809 サンプル（回収率 53.9%）

4 ケアマネジャー調査

- 調査対象：新宿区内の居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャー238人
- 調査方法：郵送法（郵送配布 - 郵送回収）
- 調査期間：平成 19 年 11 月 5 日(月)～11 月 22 日(木)
- 調査結果：回収数 131 サンプル（回収率 55.0%）

5 介護保険サービス事業所調査

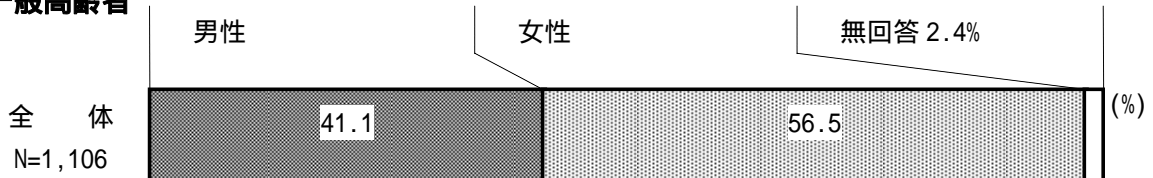
- 調査対象：新宿区内の居宅介護支援・居宅サービス事業所 204 所
- 調査方法：郵送法（郵送配布 - 郵送回収）
- 調査期間：平成 19 年 11 月 5 日(月)～11 月 22 日(木)
- 調査結果：回収数 101 サンプル（回収率 49.5%）

回答者のプロフィール

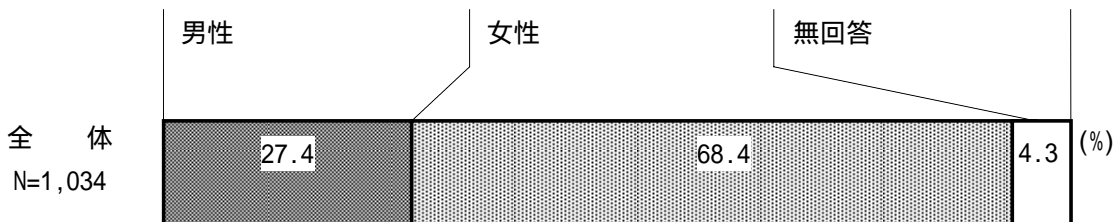
一般高齢者調査、居宅サービス利用者調査、第2号被保険者調査における回答者のプロフィールは次のとおりです。

性別

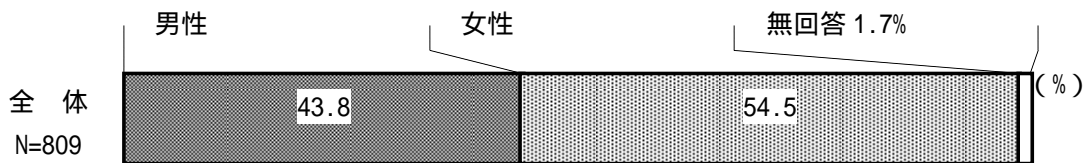
■ 一般高齢者



■ 居宅サービス利用者

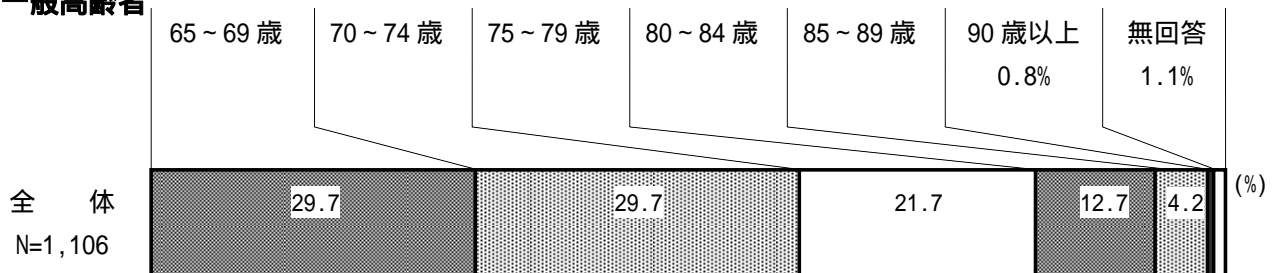


■ 第2号被保険者

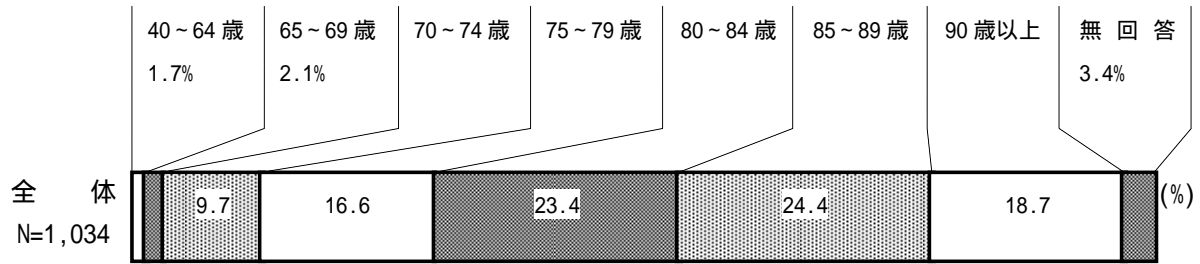


年齢

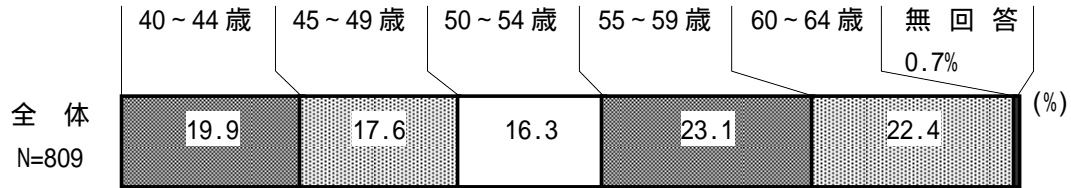
■ 一般高齢者



■ 居宅サービス利用者

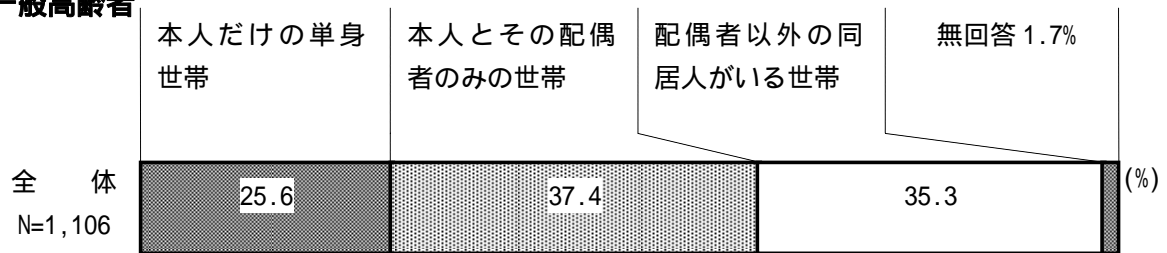


■ 第2号被保険者

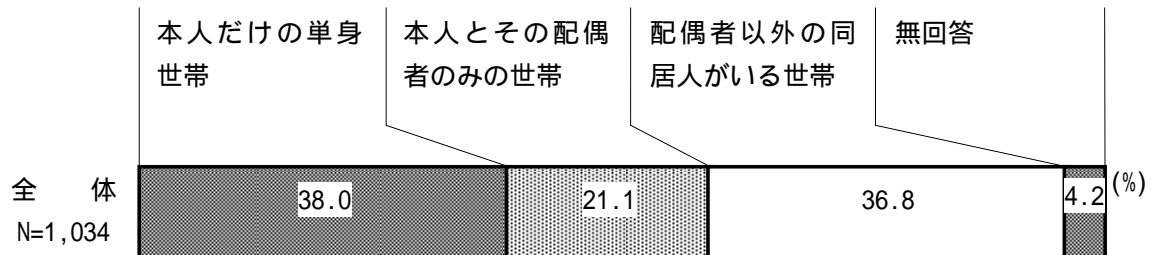


家族構成

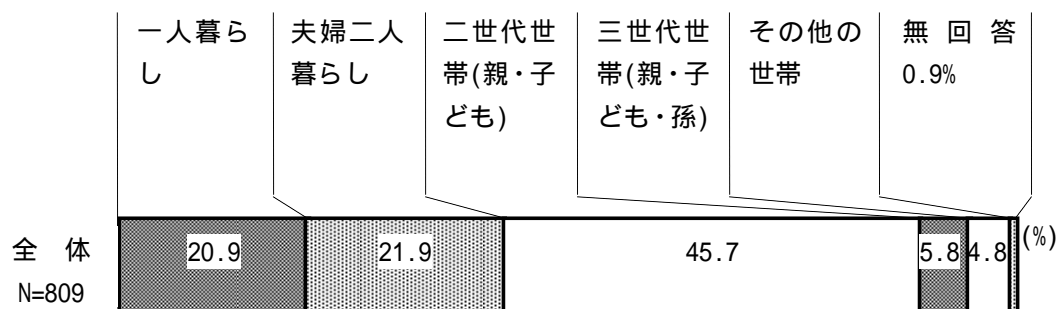
■ 一般高齢者



■ 居宅サービス利用者

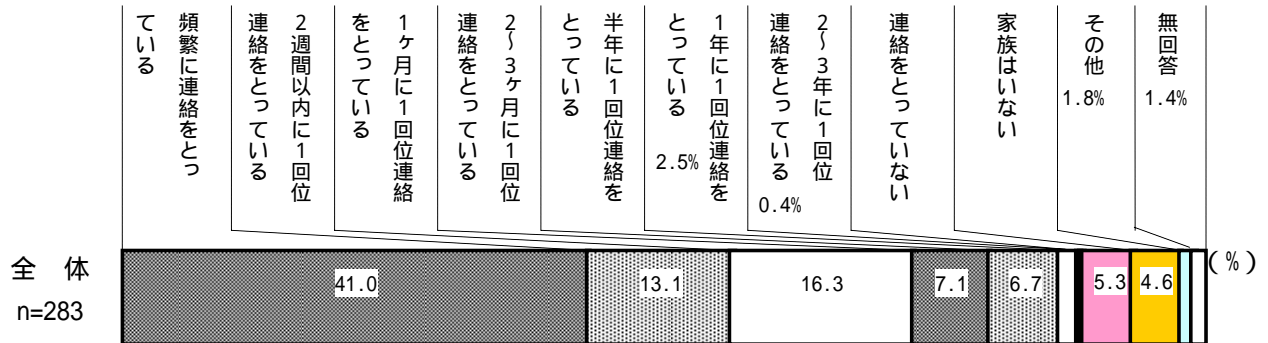


■ 第2号被保険者

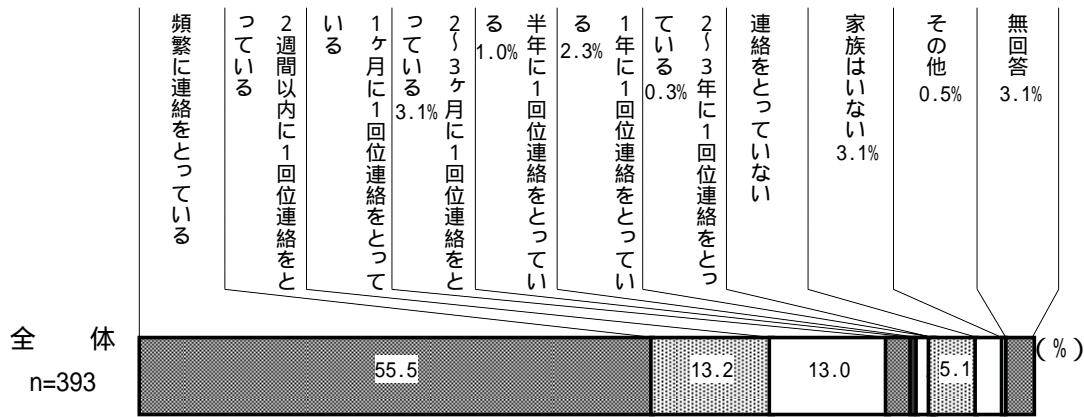


家族との連絡

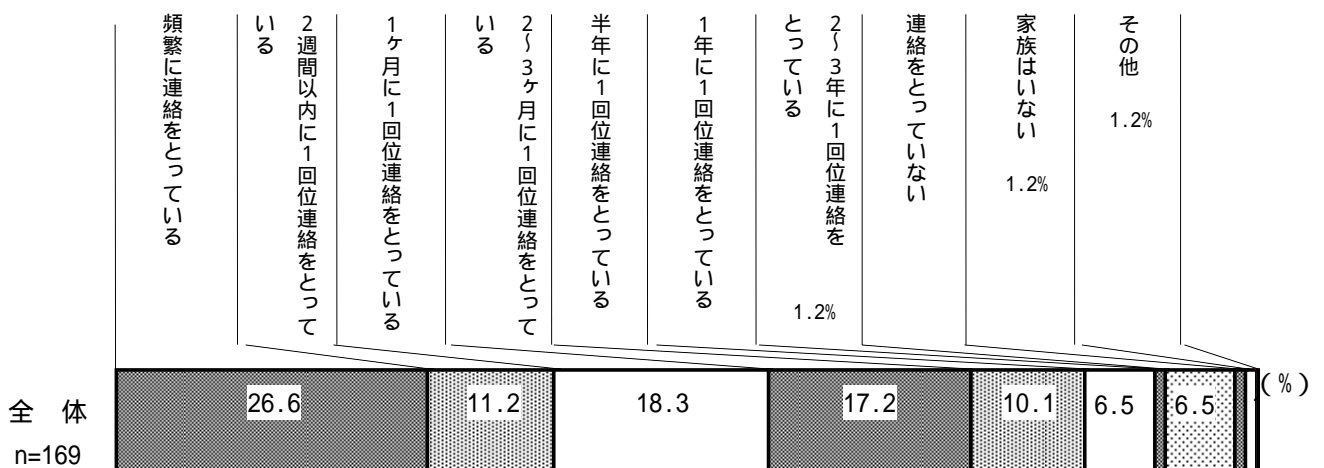
■ 一般高齢者



■ 居宅サービス利用者



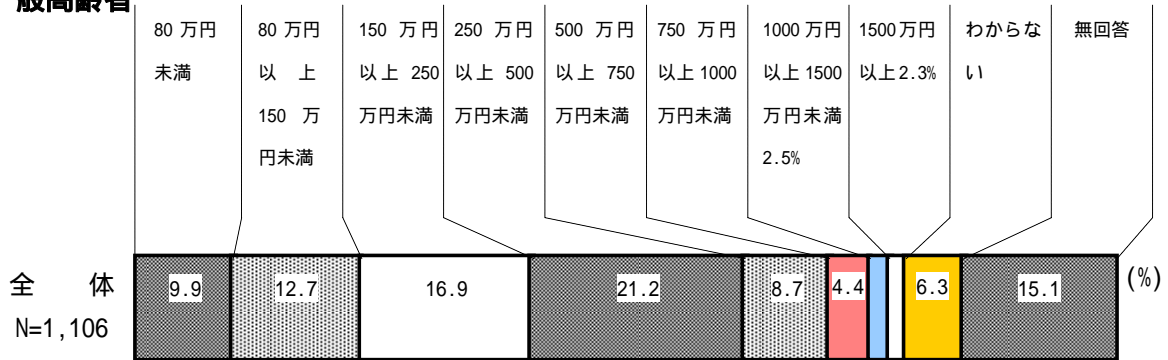
■ 第2号被保険者



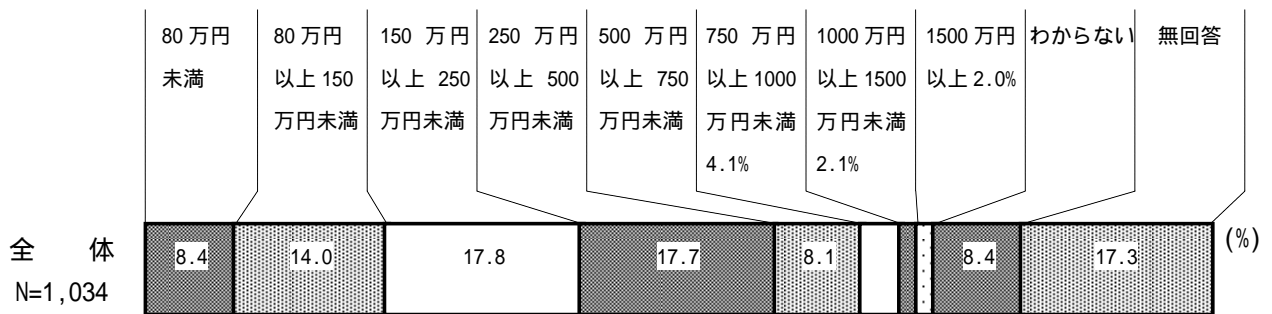
所得

昨年1年間の世帯全体の年間所得(収入から給与所得控除や必要経費等を控除後の金額)の総額

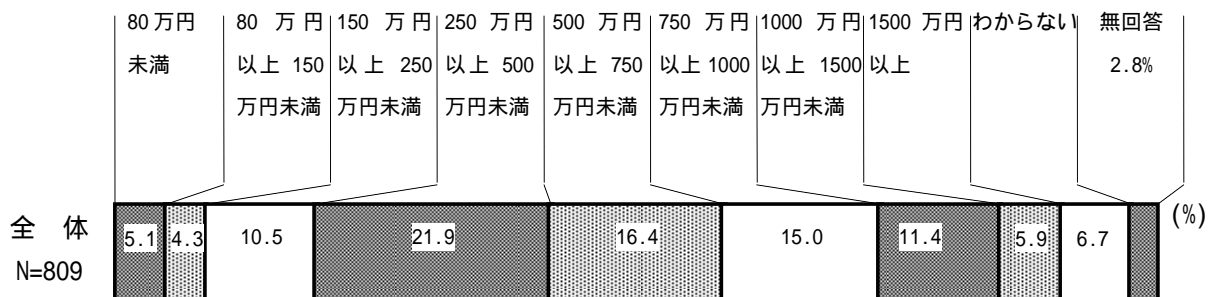
■ 一般高齢者



■ 居宅サービス利用者



■ 第2号被保険者



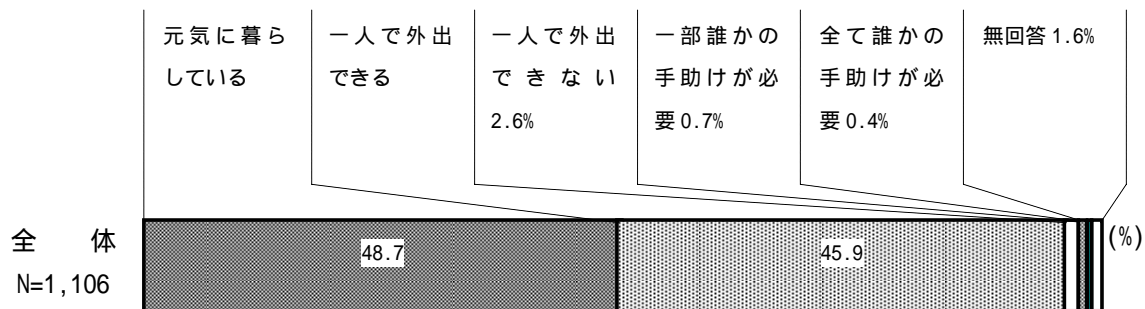
調査の結果

1 一般高齢者調査

健康状態

「元気に暮らしている」人は5割弱です(問9)

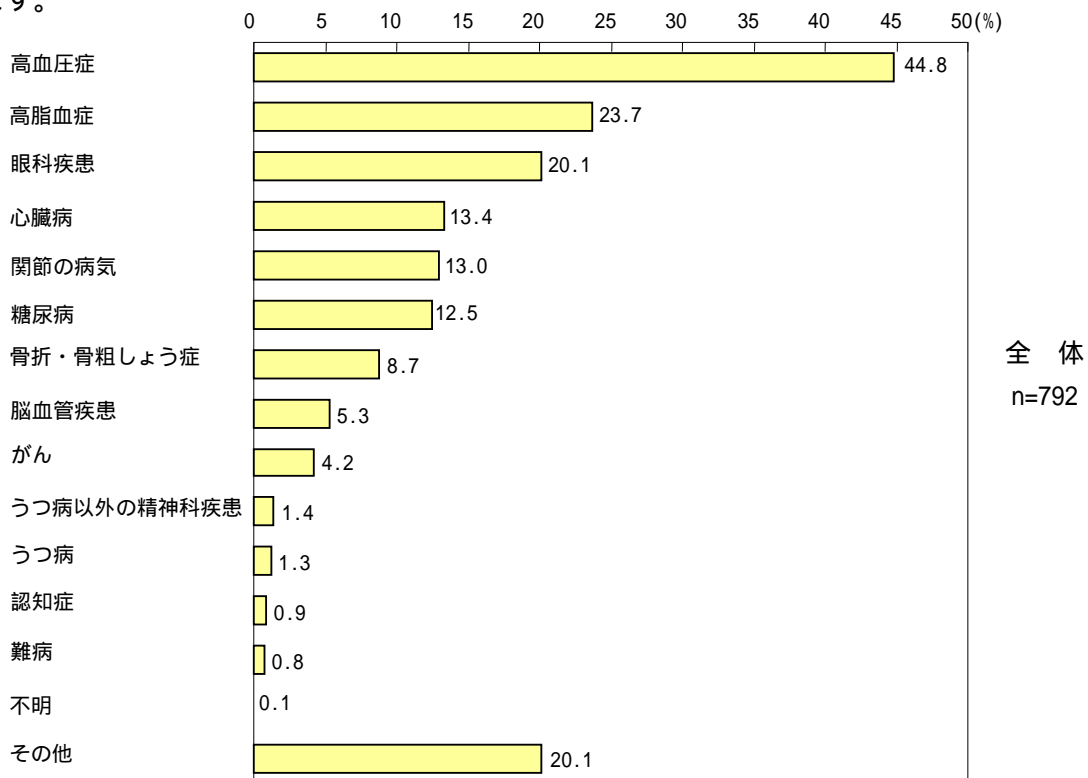
日常生活の自立度については、「元気に暮らしている(48.7%)」と「病気等があるが一人で外出できる(45.9%)」がそれぞれ5割弱を占めています。



治療中の病気

「高血圧症」が最も多くあげられています(問10-1)

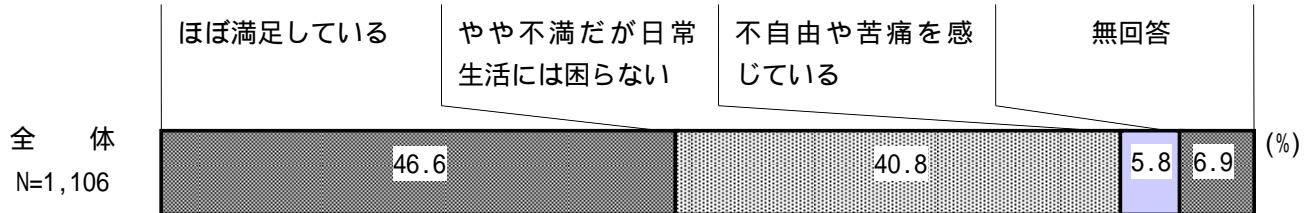
現在治療中の病気は、「高血圧症(44.8%)」が最も多く、次いで「高脂血症(23.7%)」となっています。



歯や口、入れ歯の状態

「ほぼ満足している」が約5割弱です(問 12)

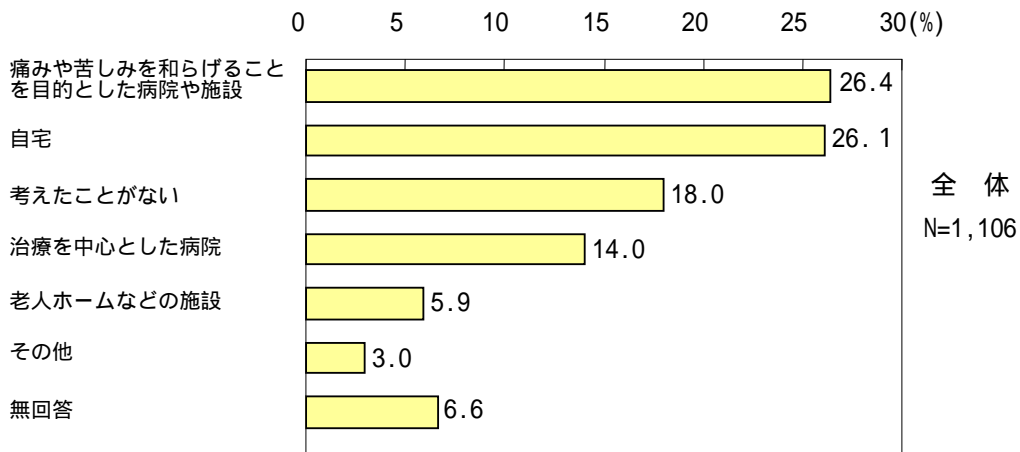
歯や口、入れ歯の状態については、「ほぼ満足している(46.6%)」が約5割を占め、次いで「やや不満だが日常生活には困らない(40.8%)」となっています。



療養生活の最期

「痛みや苦しみを和らげることを目的とした病院や施設」と「自宅」が多くあげられています(問 15)

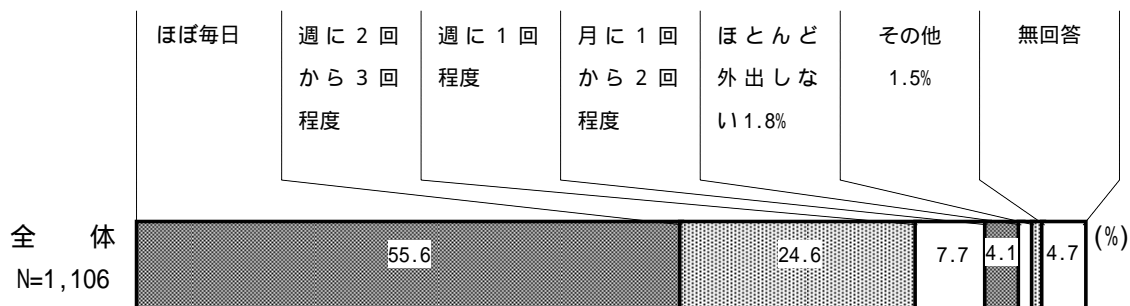
療養生活の最期を迎えたい場所についてたずねたところ、「痛みや苦しみを和らげることを目的とした病院や施設(26.4%)」、次いで「自宅(26.1%)」となっています。



外出の頻度

「ほぼ毎日外出」している人は約半数です(問 16)

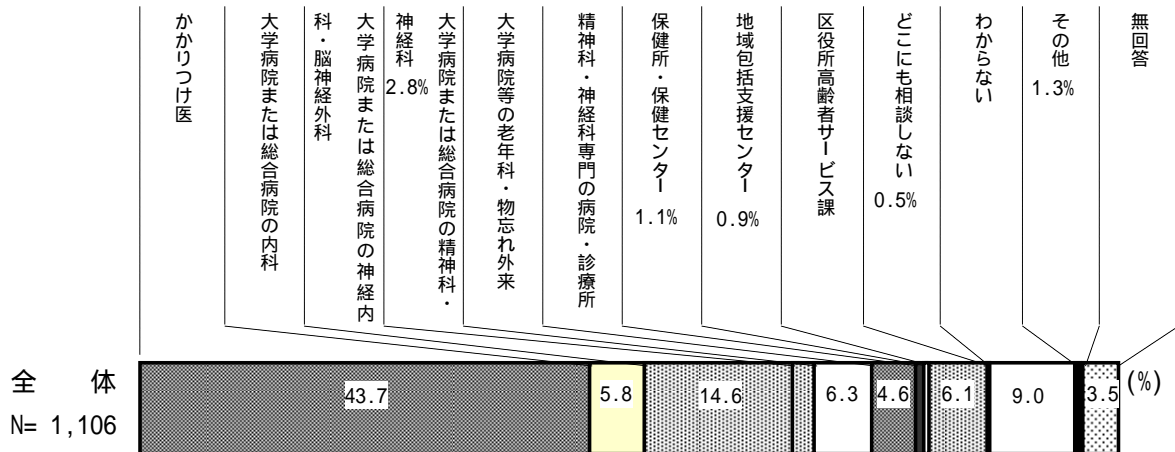
外出頻度については、「ほぼ毎日外出(55.6%)」が最も多く、次いで「週に2回から3回程度外出(24.6%)」となっています。



認知症の相談先

「かかりつけ医」に相談する人は4割を超えています(問 22)

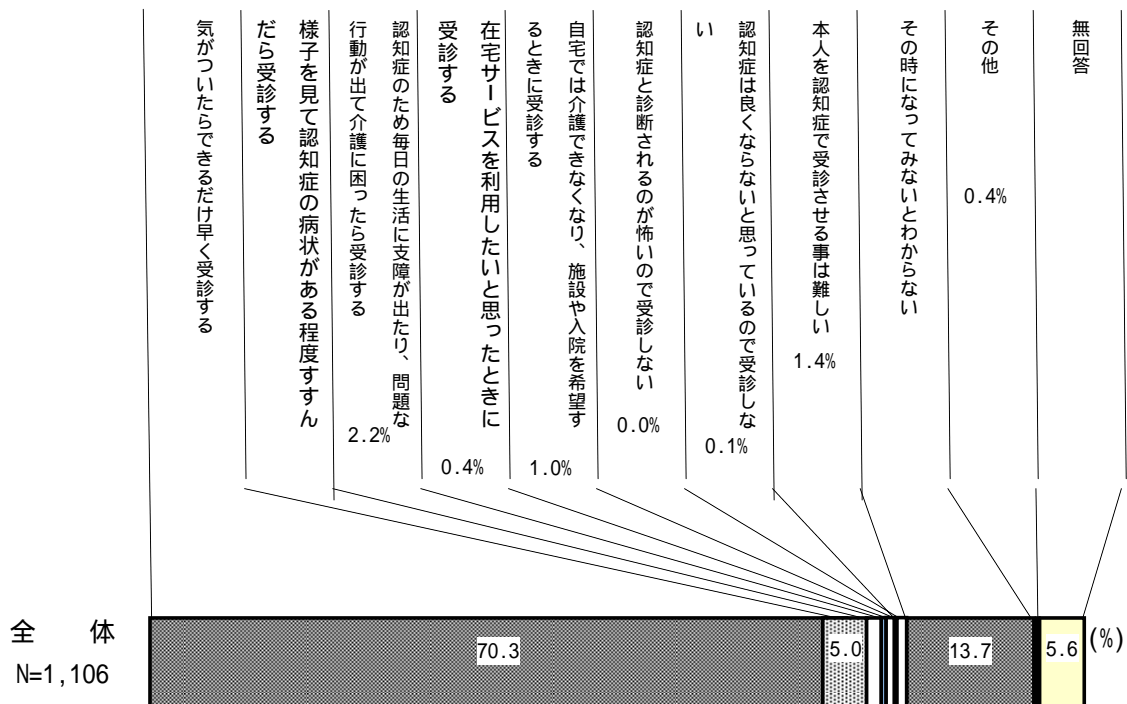
認知症の相談先としては、「かかりつけ医(43.7%)」が最も多く、次いで「大学病院または総合病院の神経内科・脳神経外科(14.6%)」となっています。



認知症専門医への受診時期

「気がついたらできるだけ早く受診する」が7割を占めています(問 23)

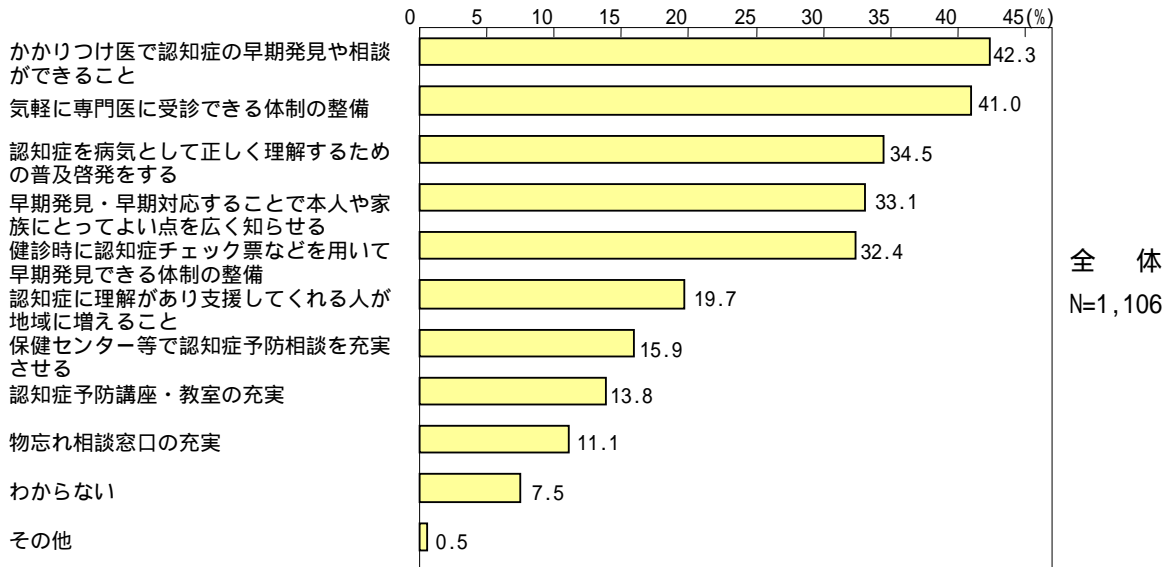
認知症専門医への受診時期は、「気がついたらできるだけ早く受診する(70.3%)」が最も多く、次いで「その時になってみないとわからない(13.7%)」となっています。



認知症の早期発見・早期対応のしくみ

「かかりつけ医で認知症の早期発見や相談ができること」と「気軽に専門医に受診できる体制の整備」が多くあげられています(問 24)

認知症の早期発見・早期対応のしくみについて複数回答でたずねたところ、「かかりつけ医で認知症の早期発見や相談ができること(42.3%)」と「気軽に専門医に受診できる体制の整備(41.0%)」がそれぞれ4割を超えています。



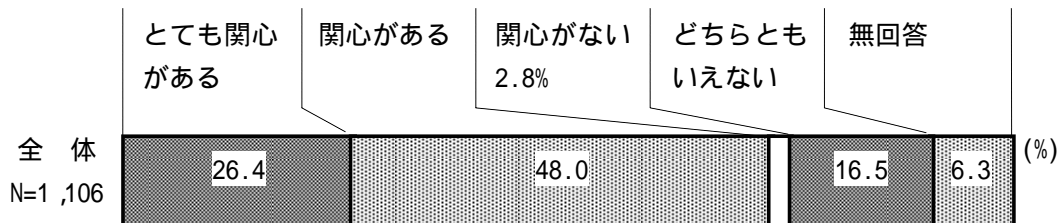
介護予防への関心

介護予防に関心のある人は4分の3を占めています(問 26)

「認知症予防教室」、「筋力向上教室」、「転倒予防教室」への参加意向が多くなっています(問 27)

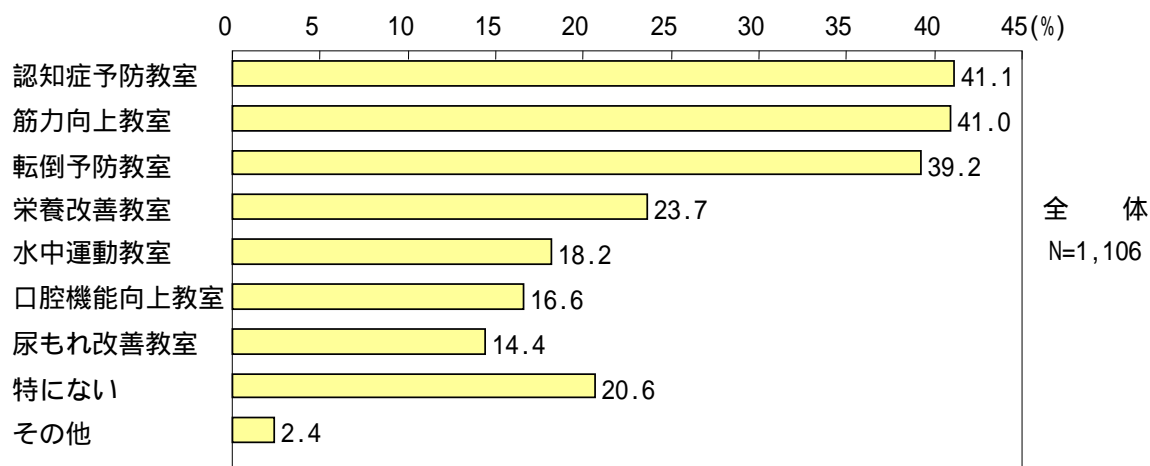
【介護予防への関心】

介護予防への関心については、「関心がある(48.0%)」が約5割を占め、次いで「とても関心がある(26.4%)」となっています。これらの合計を《関心あり》とすると、介護予防への関心がある人は4分の3を占めています。



【参加したい介護予防教室】

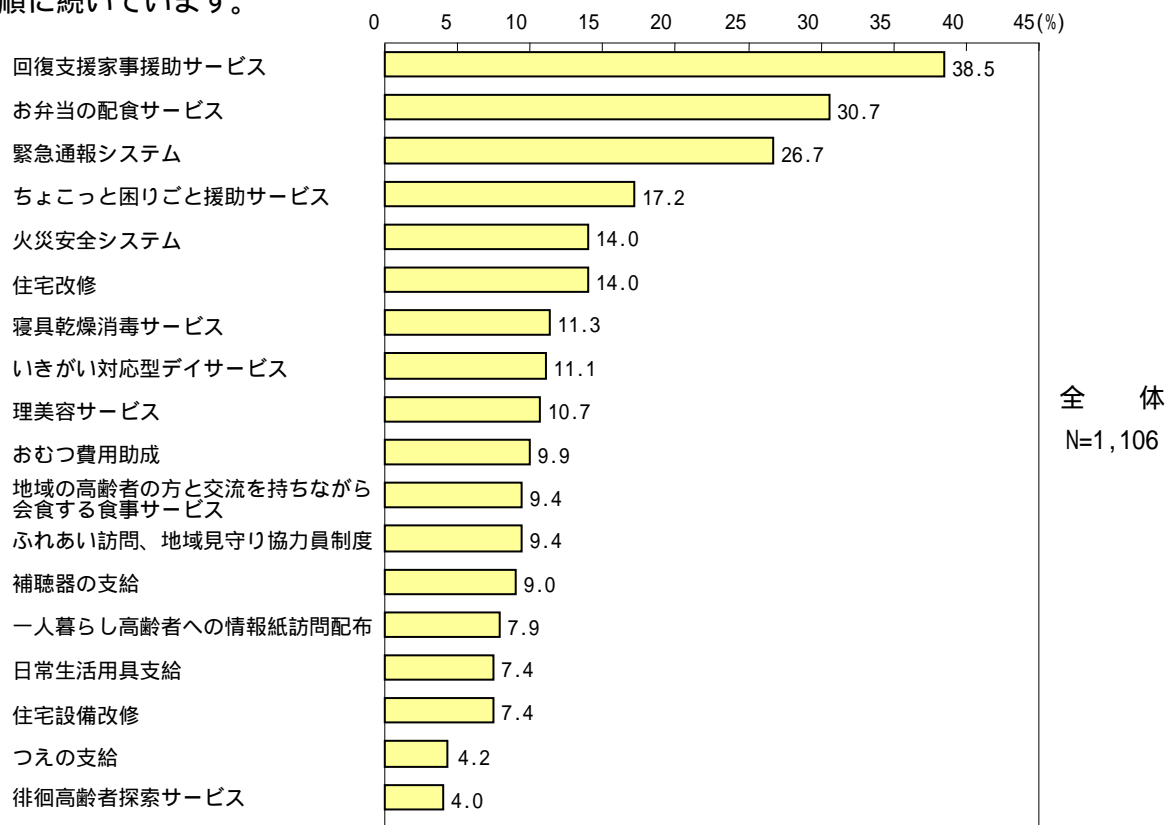
参加したい介護予防教室について複数回答でたずねたところ、「認知症予防教室(41.1%)」、「筋力向上教室(41.0%)」がそれぞれ4割を超えています。



保健福祉サービスの利用意向

「回復支援家事援助サービス」の利用意向が約4割です(問28)

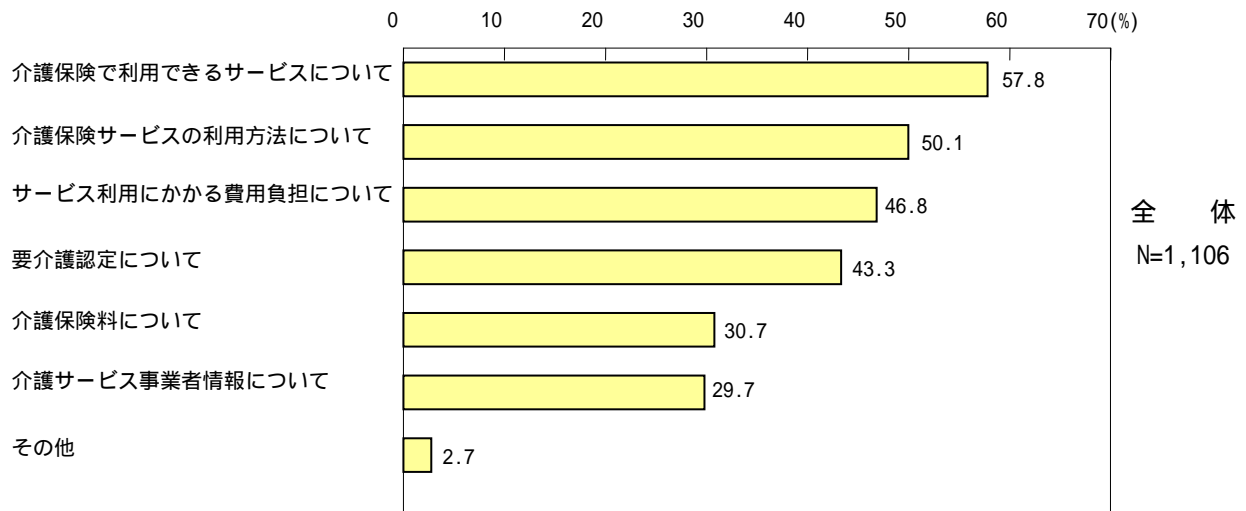
保健福祉サービスの利用意向について複数回答でたずねたところ、「回復支援家事援助サービス(38.5%)」が最も多く、次いで「お弁当の配食サービス(30.7%)」、「緊急通報システム(26.7%)」の順に続いています。



介護保険制度について知りたいこと

「介護保険で利用できるサービスについて」が最も多くなっています(問 33)

介護保険制度について知りたいことを複数回答でたずねたところ、「介護保険で利用できるサービスについて(57.8%)」が最も多く、次いで「介護保険サービスの利用方法について(50.1%)」、「サービス利用にかかる費用負担について(46.8%)」の順に続いています。

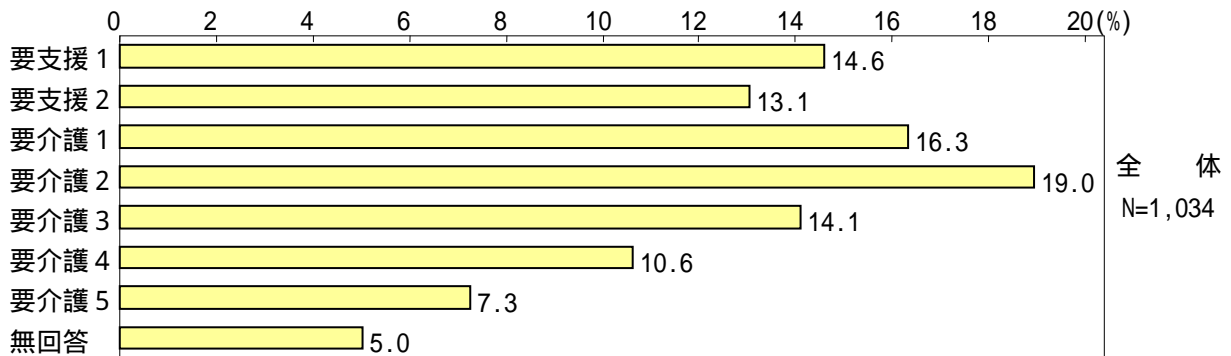


2 居宅サービス利用者調査

要介護度

「要介護2」が最も多くなっています(問8)

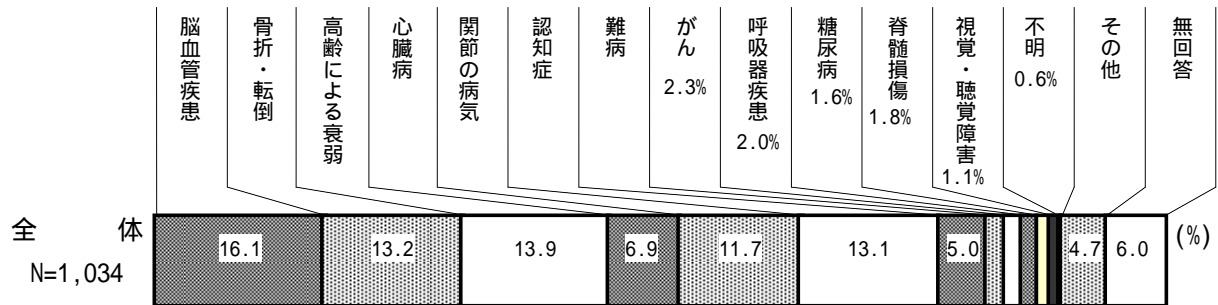
現在の要介護度は、「要介護2(19.0%)」が最も多く、次いで「要介護1(16.3%)」、「要支援1(14.6%)」、「要介護3(14.1%)」の順に続いています。



介護を要するようになった原因

「脳血管疾患」、「高齢による衰弱」、「骨折・転倒」、「認知症」の順に多くなっています(問9)

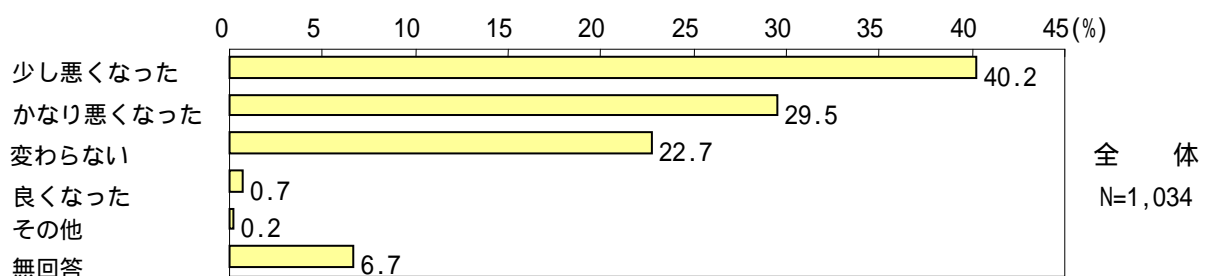
介護を要するようになった原因は、「脳血管疾患(16.1%)」が最も多く、次いで「高齢による衰弱(13.9%)」、「骨折・転倒(13.2%)」、「認知症(13.1%)」の順に続いています。



記憶力・物覚えの変化

「少し悪くなった」と「かなり悪くなった」で約7割を占めています(問17)

記憶力・物覚えの変化については、「少し悪くなった(40.2%)」が最も多く、次いで「かなり悪くなった(29.5%)」となっています。



介護保険サービスの周知状況、利用状況、利用意向、満足度

周知状況と利用状況では「訪問介護」、利用意向では「短期入所生活介護」、満足している人では「居宅療養管理指導」、まあ満足している人では「認知症対応型通所介護」、やや満足している人では「小規模多機能型居宅介護」、不満がある人では「グループホーム」が最も多くなっています(問 18)

介護保険サービスの周知状況は、「訪問介護(64.5%)」が最も多く、次いで「通所介護(60.8%)」、「福祉用具の貸与(50.7%)」の順に続いています。

介護保険サービスの利用状況は、「訪問介護(43.4%)」が最も多く、次いで「通所介護(31.6%)」、「居宅介護支援(29.8%)」の順に続いています。

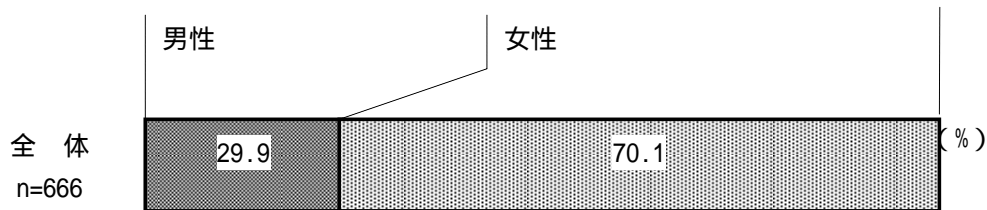
介護保険サービスの利用意向は、「短期入所生活介護(5.9%)」が最も多く、次いで「短期入所療養介護(5.4%)」の順となっています。

介護保険サービスの満足度については、満足している人では「居宅療養管理指導(60.4%)」が最も多く、次いで「福祉用具の貸与(52.7%)」の順となっています。まあ満足している人では「認知症対応型通所介護(68.7%)」が最も多く、次いで「グループホーム(66.6%)」の順となっています。やや満足している人では「小規模多機能型居宅介護(33.3%)」が最も多く、不満がある人では「グループホーム(33.3%)」が最も多くなっています。(%)

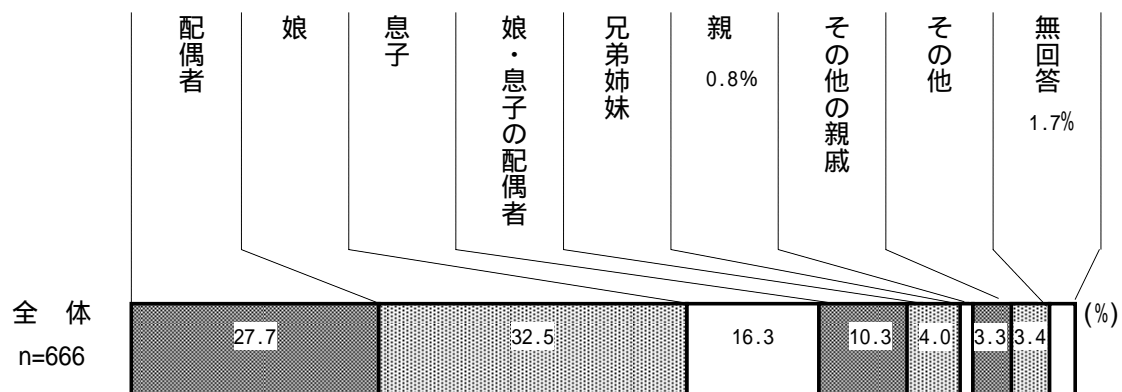
No.	介護保険サービス名	サービスの周知状況 (N=1,034)	サービス利用状況 (N=1,034)	サービス利用意向 (N=1,034)	満足度(N=1,034)			
					満足	まあ満足	やや満足	不満
1	訪問介護	64.5	43.4	1.4	32.2	45.1	18.2	4.5
2	訪問看護	41.5	13.2	2.2	50.0	39.5	9.7	0.8
3	訪問リハビリ	30.9	6.4	3.3	48.3	34.5	13.8	3.4
4	訪問入浴	46.6	11.1	1.6	49.5	40.2	7.5	2.8
5	通所介護	60.8	31.6	2.0	45.0	39.8	13.2	2.0
6	通所リハビリ	37.6	8.4	3.0	28.8	48.6	18.8	3.8
7	福祉用具の貸与	50.7	26.5	2.9	52.7	35.6	9.3	2.4
8	夜間対応型訪問介護	17.9	1.0	2.5	33.3	50.0	16.7	0.0
9	認知症対応型通所介護	13.9	0.9	1.7	18.8	68.7	0.0	12.5
10	小規模多機能型居宅介護	10.8	0.3	2.0	33.3	33.3	33.3	0.0
11	グループホーム	17.6	1.1	1.1	0.0	66.6	0.0	33.3
12	短期入所生活介護	36.6	6.1	5.9	34.4	45.9	13.1	6.6
13	短期入所療養介護	29.2	4.0	5.4	22.9	51.4	17.1	8.6
14	居宅療養管理指導	16.9	4.6	2.3	60.4	29.2	10.4	0.0
15	特定施設入居者生活介護	13.7	2.5	1.4	24.0	60.0	8.0	8.0
16	福祉用具購入費支給	33.3	12.4	3.2	49.1	28.6	13.4	8.9
17	住宅改修費支給	34.9	10.9	3.5	45.1	34.3	14.7	5.9
18	居宅介護支援	45.6	29.8	0.7	48.0	38.6	9.5	3.9
	無回答	13.0	18.4	79.5				

主な介護者の状況

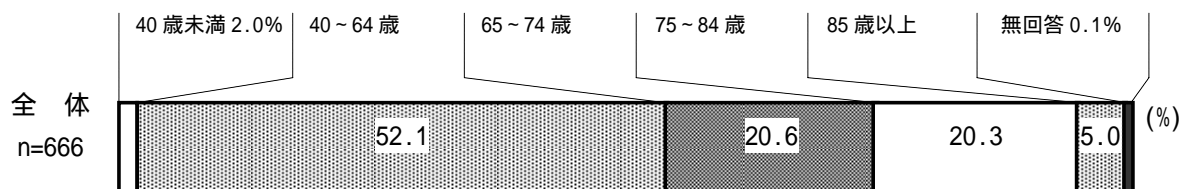
【介護者の性別(問 27)】



【主な介護者(問 28)】



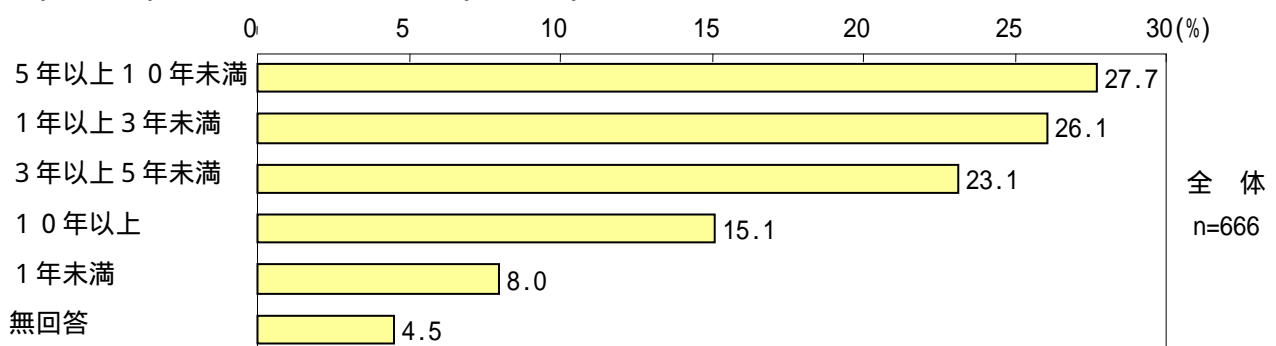
【介護者の年齢(問 29)】



介護している期間

「5年以上10年未満」が最も多くあげられています(問 30)

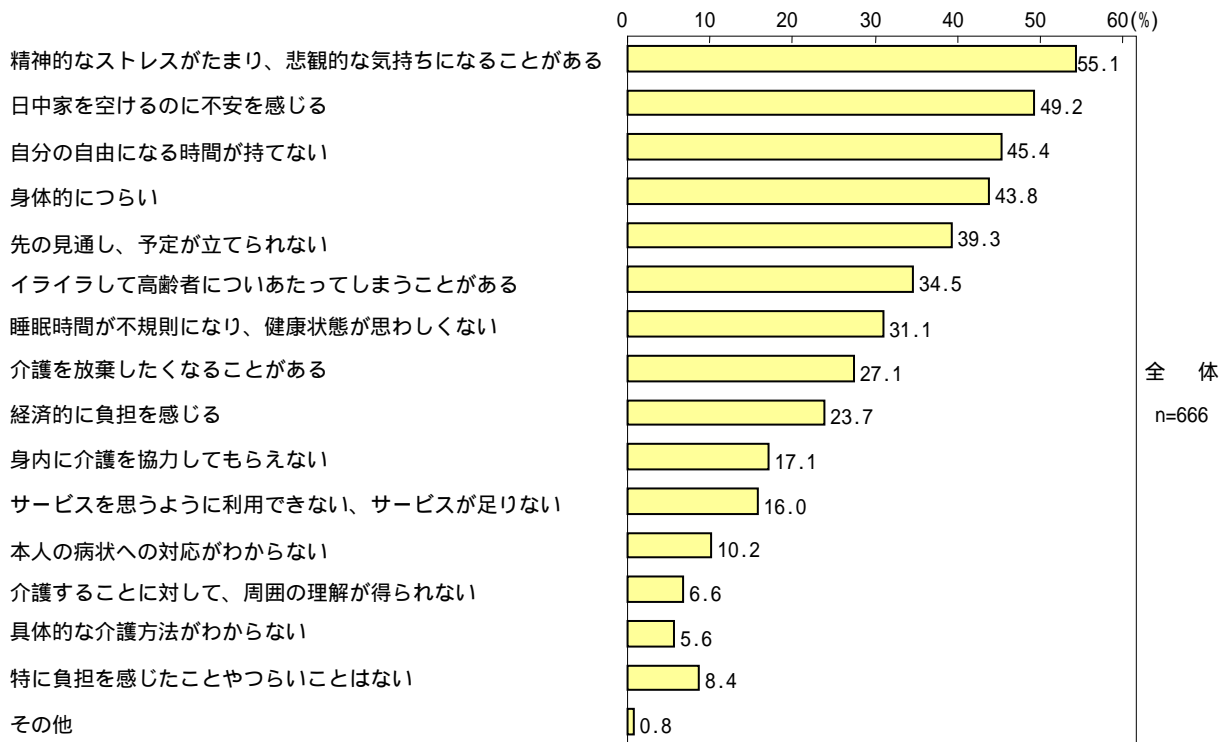
介護している期間は、「5年以上10年未満(27.7%)」が最も多く、次いで「1年以上3年未満(26.1%)」、「3年以上5年未満(23.1%)」の順に続いています。



介護の負担感

「精神的なストレスがたまり、悲観的な気持ちになることがある」が5割を超えています(問 31)

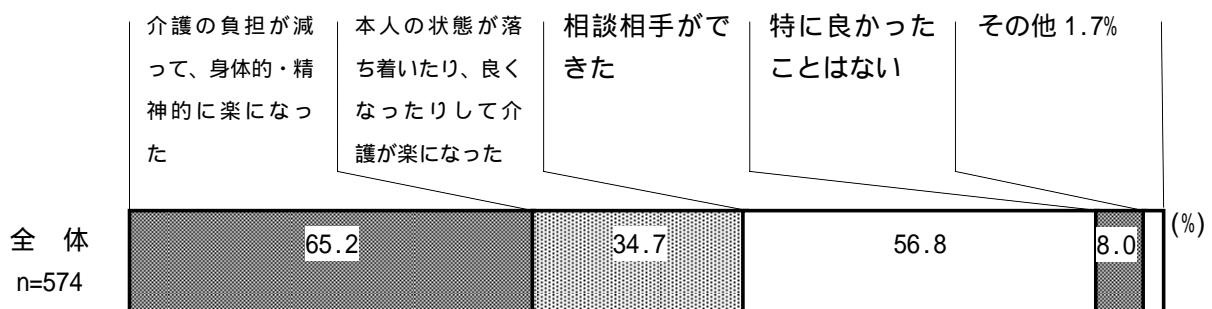
介護の負担感については、「精神的なストレスがたまり、悲観的な気持ちになることがある(55.1%)」が最も多く、5割強を占めています。次いで「日中家を空けるのに不安を感じる(49.2%)」、「自分の自由になる時間が持てない(45.4%)」の順に続いています。



介護保険サービスを利用して良かったこと

「介護の負担が減って、身体的・精神的に楽になった」が6割を超えています(問 32)

介護保険サービスを利用して良かったことを複数回答でたずねたところ、「介護の負担が減って、身体的・精神的に楽になった(65.2%)」が最も多く、次いで「相談相手ができた(56.8%)」、「本人の状態が落ち着いたり、良くなったりして介護が楽になった(34.7%)」の順に続いています。

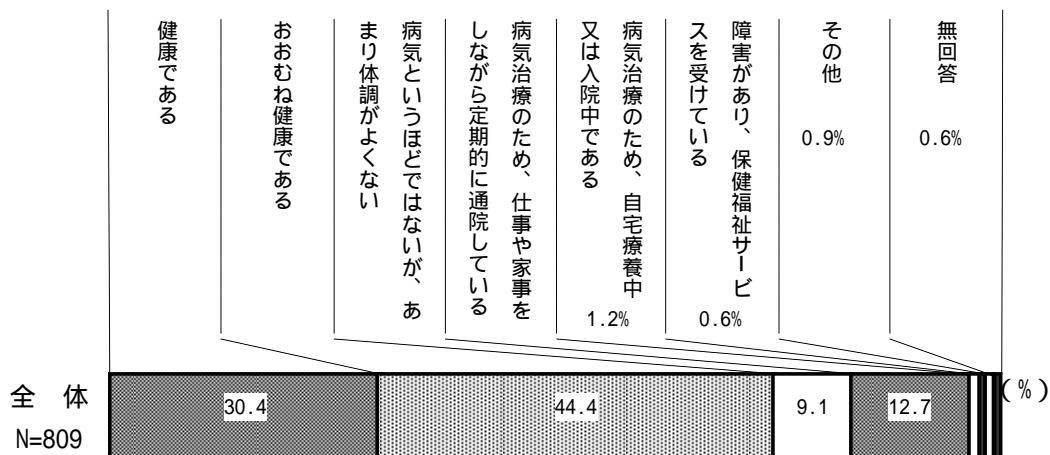


3 第2号被保険者調査

健康状態

《健康》と回答した人の割合は7割を超えています(問 10)

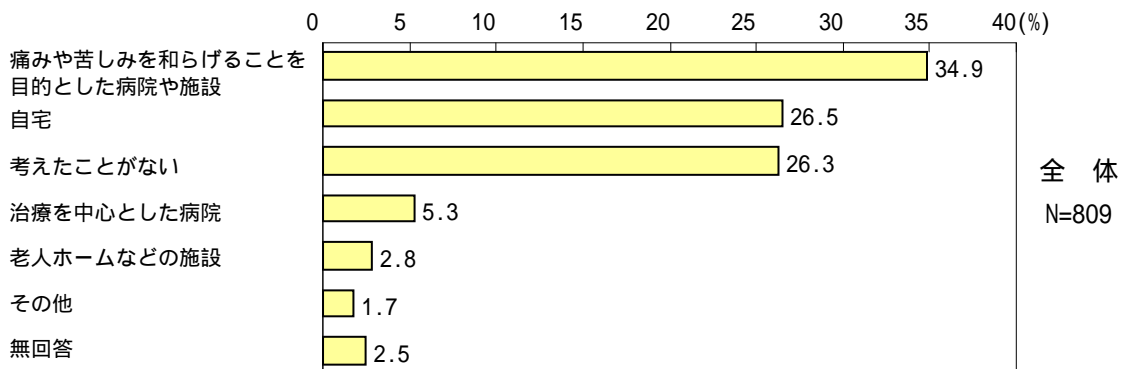
健康状態については、「健康である(30.4%)」と「おおむね健康である(44.4%)」をあわせた《健康》と回答した人の割合は7割を超えています。次いで「病気治療のため、仕事や家事をしながら定期的に通院している(12.7%)」となっています。



療養生活の最期

「痛みや苦しみを和らげることを目的とした病院や施設」が最も多くあげられています(問 16)

療養生活の最期を迎えたい場所についてたずねたところ、「痛みや苦しみを和らげることを目的とした病院や施設(34.9%)」が最も多く、次いで「自宅(26.5%)」、「考えたことがない(26.3%)」の順に続いています。



健康診断

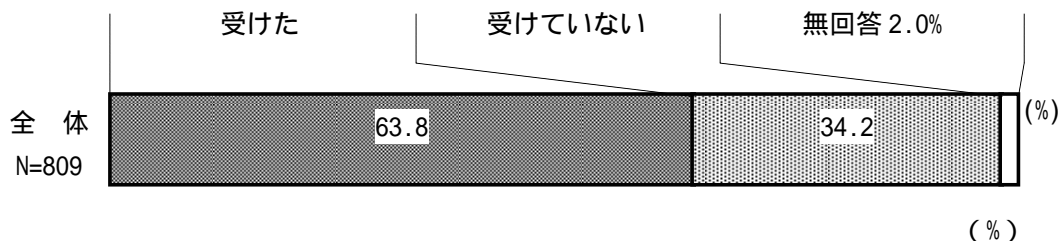
健康診断を「受けた」人が6割を超えています(問 19)

検査結果は「特に異常がなかった」と「治療を要するほどではなかったが、生活習慣に気をつけるようにいわれた」人が約3割です(問 19-2)

【健康診断の受診状況】

この1年以内に健康診断の受診状況については、「受けた」が63.8%で、「受けていない」が34.2%となっています。

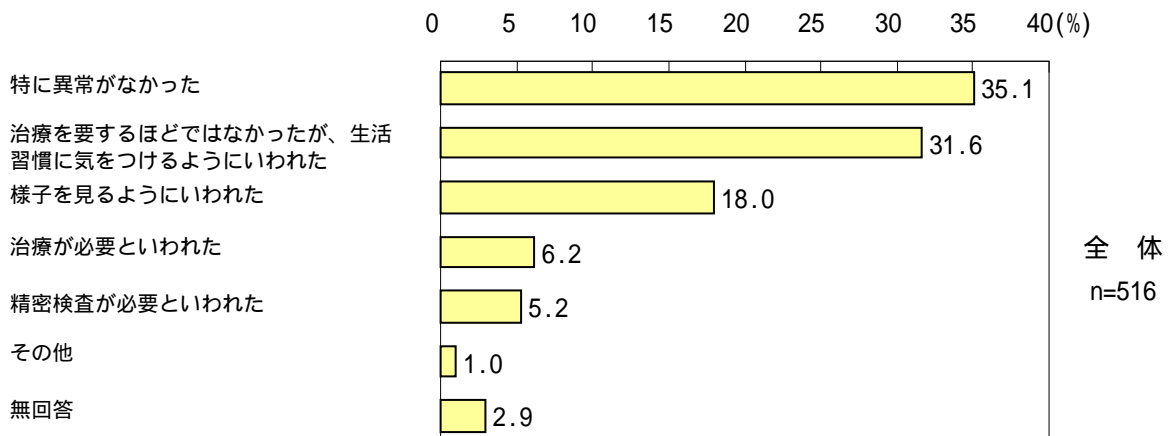
職業別でみると、企業の社員・役員(従業員50人以上)と公務員で健康診断を「受けた」割合が高く、9割以上となっています。一方、自営業で健康診断を「受けていない」が55.0%と受診率が低くなっています。



		受けた	受けていない	無回答
全体 (N=809)		63.8	34.2	2.0
職業	自営業 (n=140)	42.9	55.0	2.1
	企業の社員・役員(従業員50人未満)(n=124)	70.2	26.6	3.2
	企業の社員・役員(従業員50人以上)(n=162)	90.1	8.0	1.9
	公務員 (n=33)	93.9	6.1	0.0
	パート・内職などの仕事 (n=118)	56.8	42.4	0.8
	主婦 (n=121)	51.2	47.9	0.8
	無職 (n=55)	50.9	49.1	0.0
	その他 (n=43)	69.8	30.2	0.0

【検査結果】

検査結果については、「特に異常がなかった(35.1%)」と「治療を要するほどではなかったが、生活習慣に気をつけるようにいわれた(31.6%)」で6割を超えています。



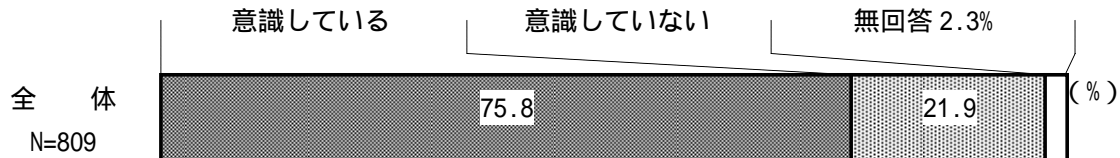
健康づくり

健康づくりを意識している人は7割強です(問 20)

具体的に実行していることは、「からだを動かすように心がける」、「食生活や栄養に気をつける」、「毎日規則正しい生活をおくる」などです(問 20-1)

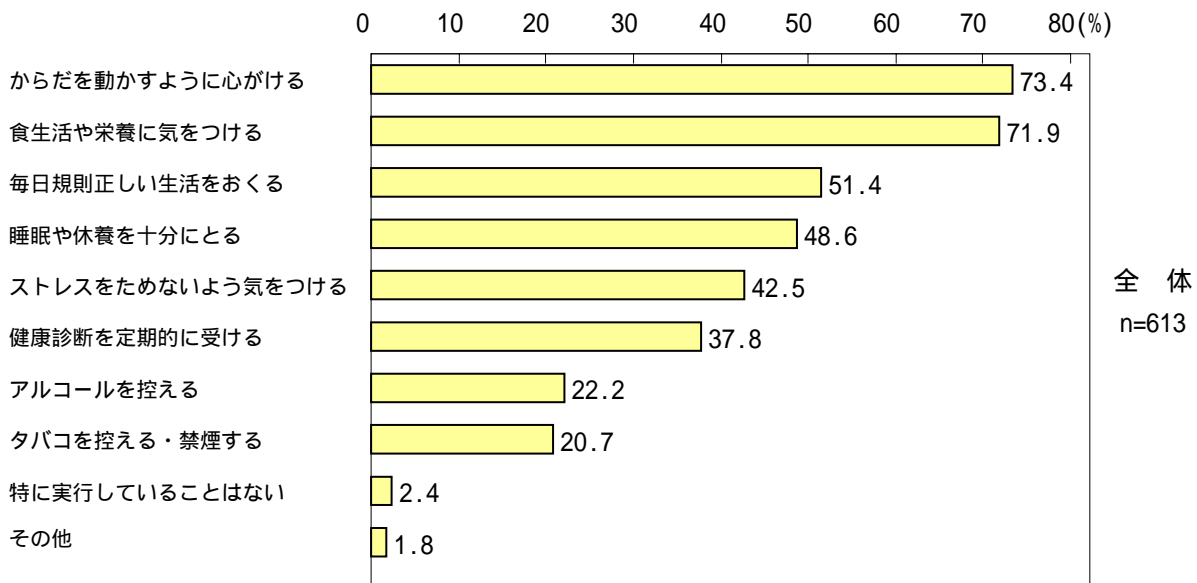
【健康づくりに関する意識】

健康づくりに関する意識については、「意識している(75.8%)」が7割を超えています。



【健康づくりで実行していること】

健康づくりで実行していることについて複数回答でたずねたところ、「からだを動かすように心がける(73.4%)」が最も多く、次いで「食生活や栄養に気をつける(71.9%)」、「毎日規則正しい生活をおくる(51.4%)」の順に続いています。

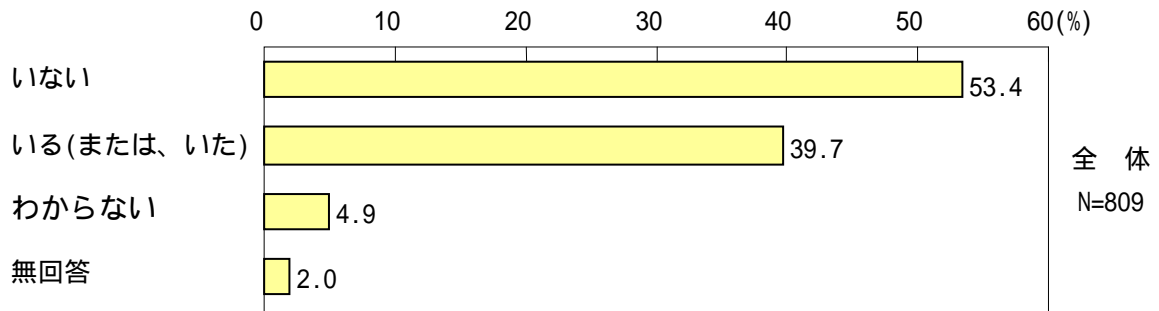


認知症

認知症の知人の有無についてたずねたところ、認知症の知人の「いる」人が約4割です(問 21)
「別居の家族(介護の経験あり)」が最も多くなっています(問 21-1)

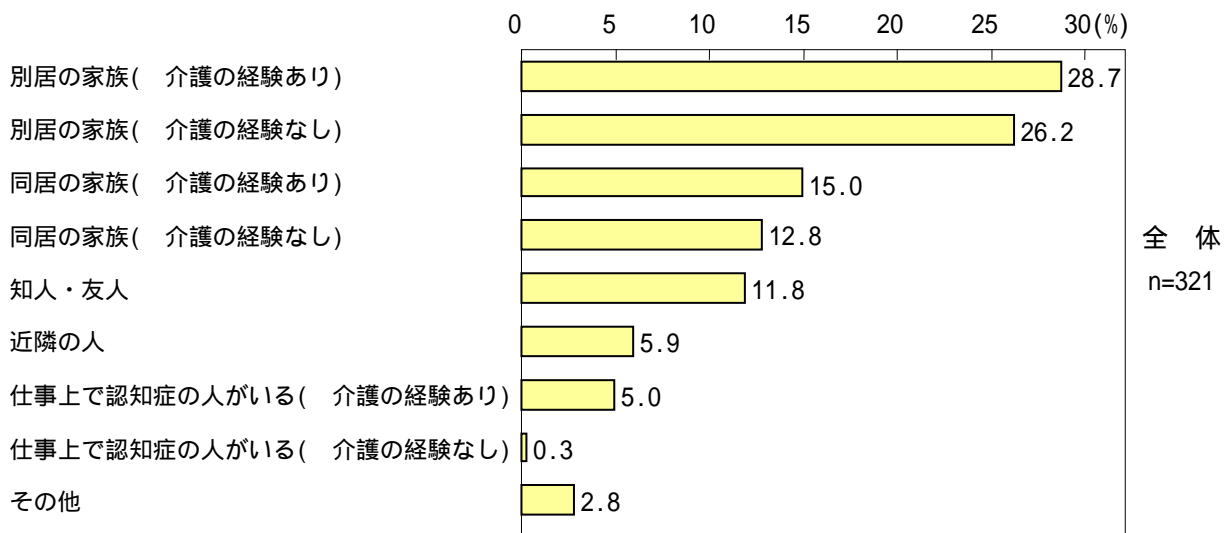
【認知症の知人の有無】

認知症の知人の有無についてたずねたところ、「いない(53.4%)」が最も多く、次いで「いる(39.7%)」となっています。



【認知症の人との関係】

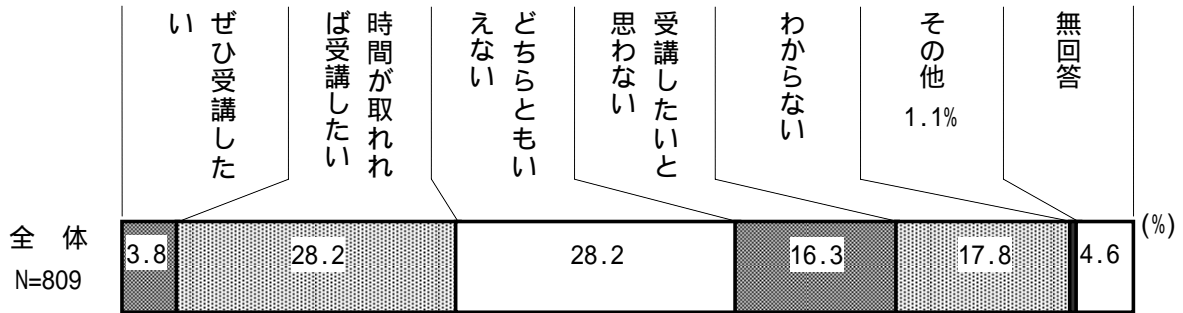
認知症の人との関係について複数回答でたずねたところ、「別居の家族(介護の経験あり)」が28.7%で最も多く、次いで「別居の家族(介護の経験なし)」が26.2%、「同居の家族(介護の経験あり)」が15.0%の順に続いています。



認知症サポーター養成研修への参加意向

(受講したい)が3割を超えています(問 22)

認知症サポーター養成研修への参加意向については、「ぜひ受講したい(3.8%)」と「時間が取れば受講したい(28.2%)」を合わせると《受講したい》が3割を超えています。

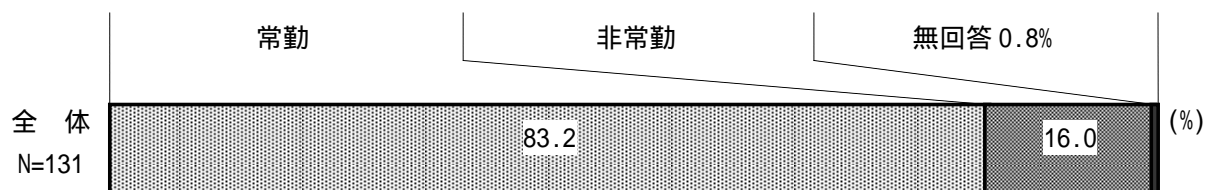


4 ケアマネジャー調査

勤務形態

「常勤」が約8割を占めています(問6)

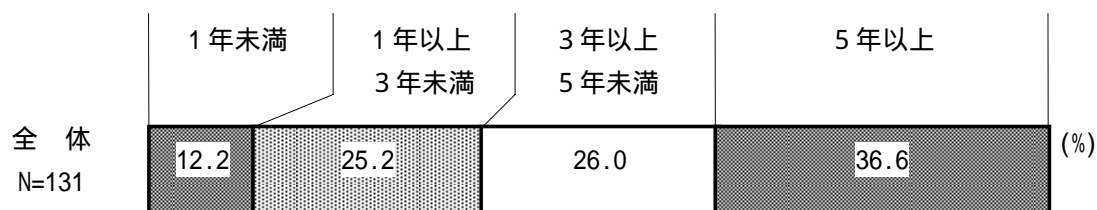
勤務形態は、「常勤(83.2%)」が約8割を占め、「非常勤(16.0%)」を大きく上回っています。



経験年数

3年以上が6割以上を占めています(問7)

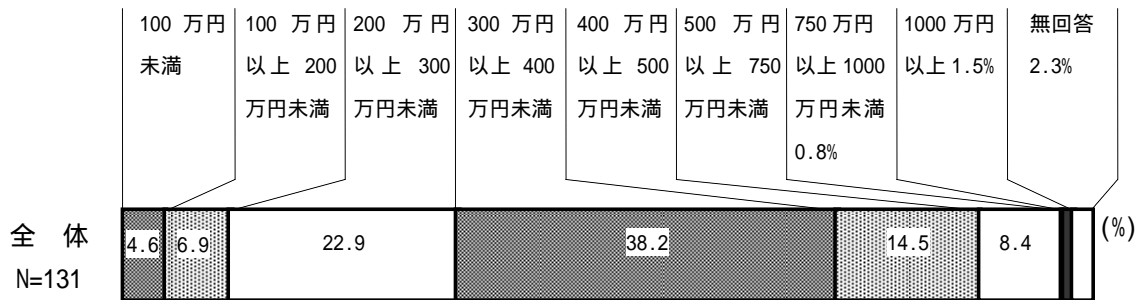
経験年数は、「5年以上(36.6%)」が最も多く、次いで「3年以上5年未満(26.0%)」、「1年以上3年未満(25.2%)」の順に続いています。



年収

「300万円以上 400万円未満」が約4割を占めています(問9)

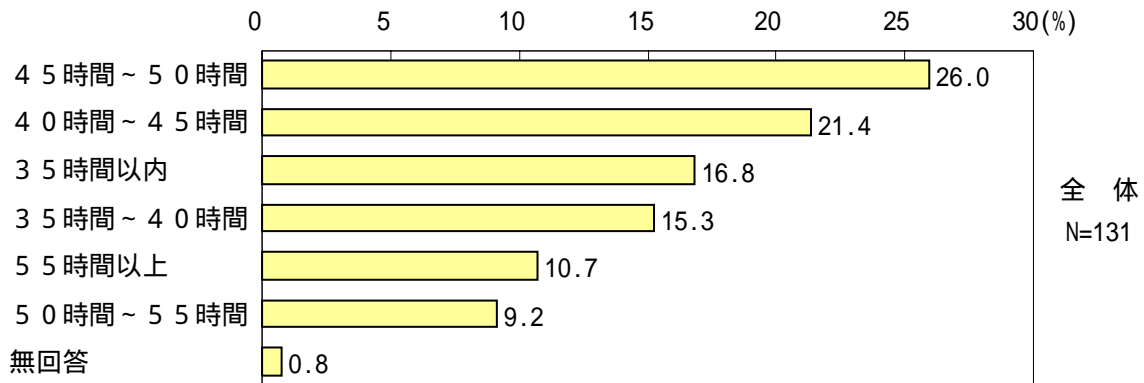
年収は、「300万円以上 400万円未満(38.2%)」が最も多く、「200万円以上 300万円未満(22.9%)」、「400万円以上 500万円未満(14.5%)」、「500万円以上 750万円未満(8.4%)」の順に続いています。



1週間の勤務時間

「45時間～50時間」が最も多くあげられています(問10)

1週間の勤務時間は、「45時間～50時間(26.0%)」が最も多く、次いで「40時間～45時間(21.4%)」、「35時間以内(16.8%)」、「35時間～40時間(15.3%)」の順に続いています。



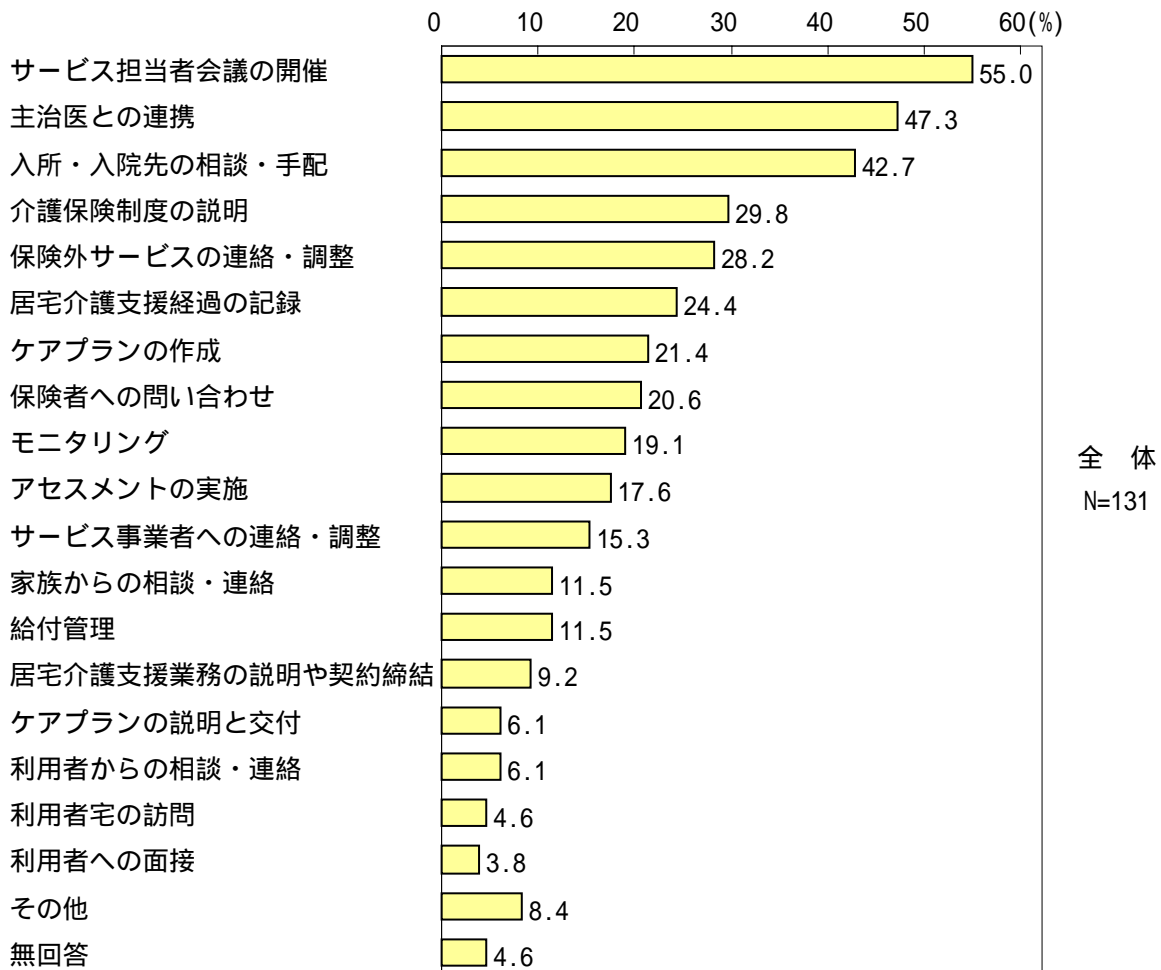
ケアマネジメントの状況

負担を感じる業務について、「サービス担当者会議の開催」が5割強を占めています(問 15)

委託予防プランで困っていることについて、「作成する書類が多い」が7割弱を占めています(問 16)

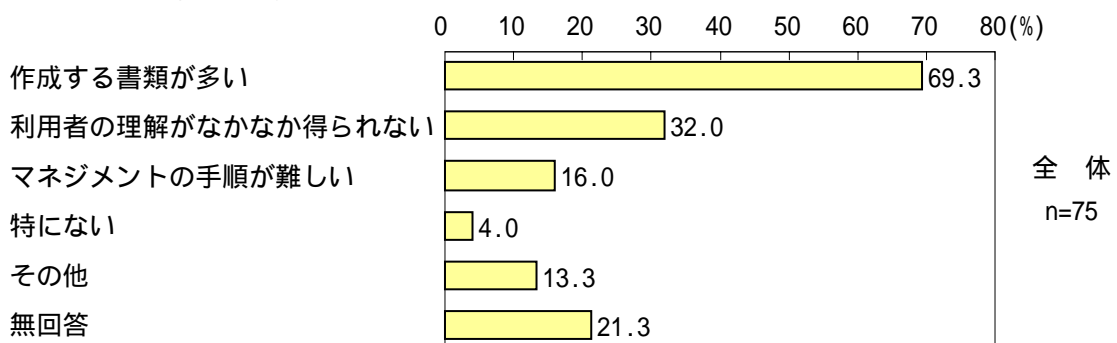
【負担を感じる業務】

ケアマネジメントを行っている中で負担を感じる業務について複数回答でたずねたところ、「サービス担当者会議の開催(55.0%)」が最も多く、次いで「主治医との連携(47.3%)」、「入所・入院先の相談・手配(42.7%)」の順に続いています。



【委託予防プランで困っていること】

委託予防プランを実施している場合に困っていることについて複数回答でたずねたところ、「作成する書類が多い(69.3%)」が7割弱となっています。



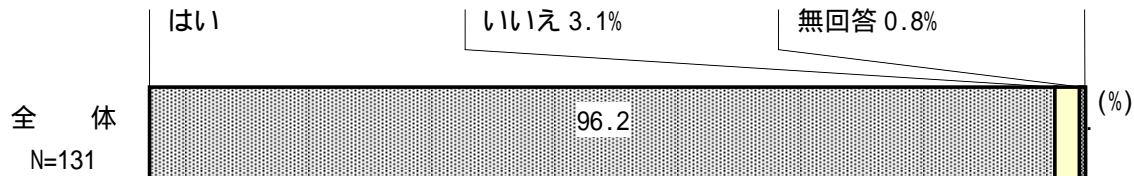
ケアマネジメントの質の向上

研修に参加している人は9割を超えています(問 17)

スキルアップにつながった研修内容については、「認知症高齢者への対応」が最も多くあげられています(問 17-1)

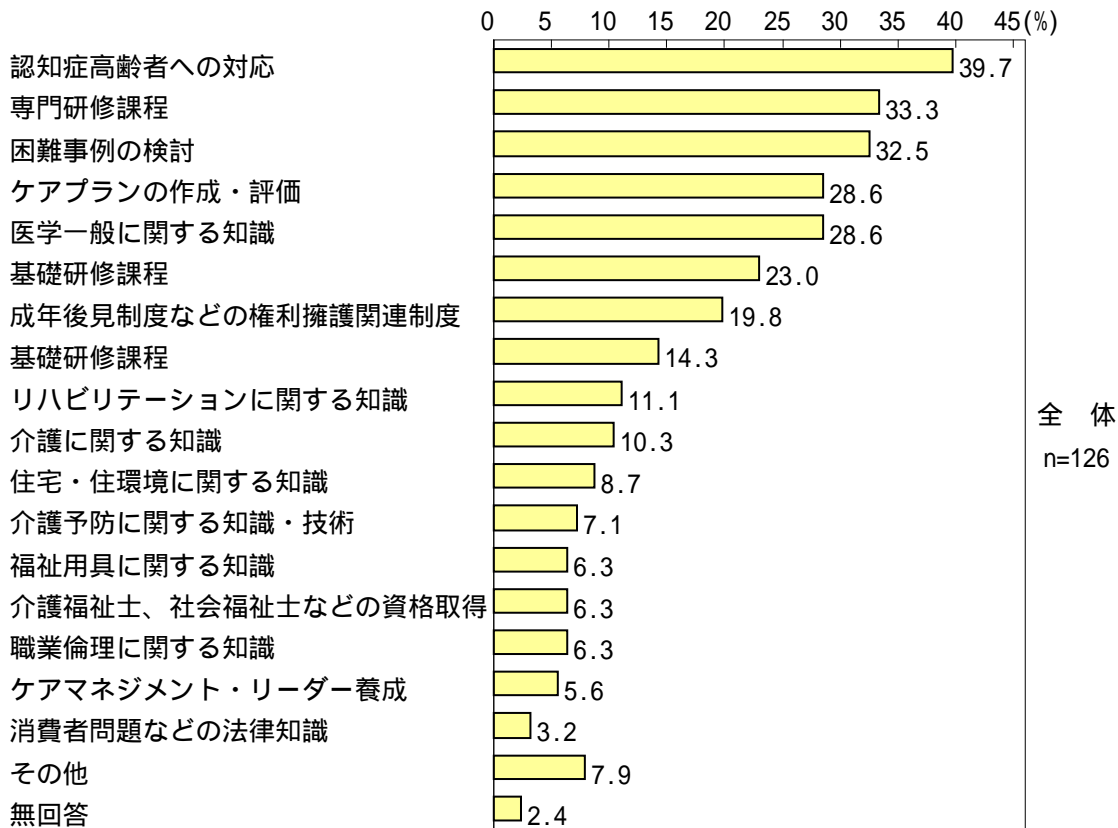
【研修参加状況】

ケアマネジメント研修の参加状況は、「はい(96.2%)」が9割を超えています。



【スキルアップにつながった研修内容】

スキルアップにつながった研修は、「認知症高齢者への対応(39.7%)」が最も多く、次いで「専門研修課程(33.3%)」、「困難事例の検討(32.5%)」の順に続いています。



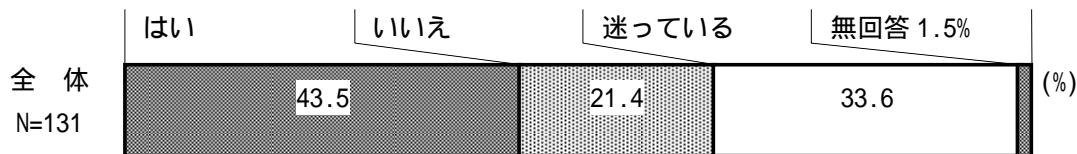
ケアマネジャー継続意向

「継続したい」が4割を超えています(問 18)

「仕事に見合った報酬がもらえないから」が8割を超えています(問 18-1)

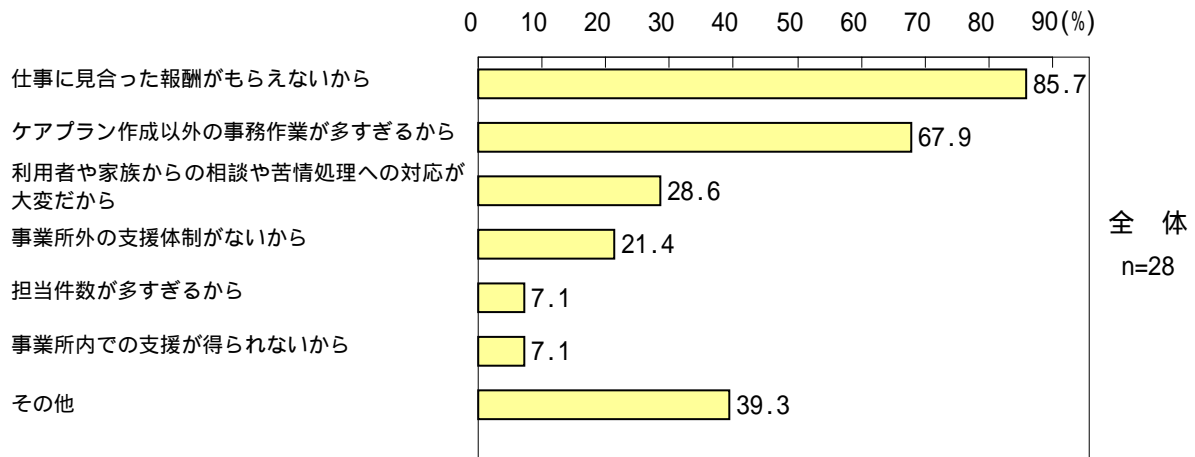
【ケアマネジャー継続意向】

ケアマネジャーの継続意向については、「継続したい(43.5%)」が最も多く、次いで「迷っている(33.6%)」となっています。



【ケアマネジャーを続けたくない理由】

ケアマネジャーを続けたくない理由について複数回答でたずねたところ、「仕事に見合った報酬がもらえないから(85.7%)」が最も多く、次いで「ケアプラン作成以外の事務作業が多すぎるから(67.9%)」となっています。



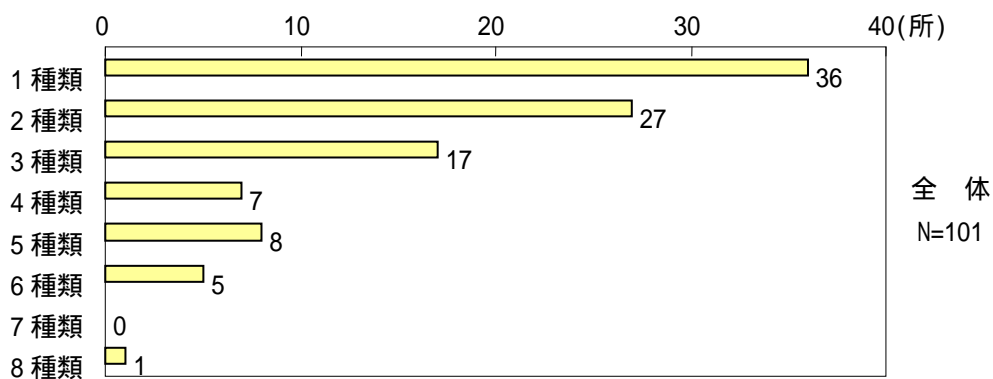
5 介護保険サービス事業所調査

実施している介護保険サービス

1種類のサービスを実施している事業所が36所となっています(問4)

【事業所のサービス種類数】

介護保険サービス事業所が実施しているサービスは、101の事業所の中で1種類のサービスを実施している事業所が36所となっています。一番多いサービス種類を実施している事業者は、サービス種類が8種類です。



事業所に従事するケアマネジャーや介護職員などの年収

常勤ケアマネジャーの中では、居宅介護支援の「300万円以上400万円未満」、常勤看護職員の中では、訪問看護の「400万円以上500万円未満」、常勤介護職員の中では、訪問介護の「200万円以上300万円未満」が多く占めています(問5)

事業所に従事する職員の収入をたずねたところ、常勤ケアマネジャーの中では、居宅介護支援の「300万円以上400万円未満(12所)」が最も多く、次いで居宅介護支援の「400万円以上500万円未満(8所)」となっています。

常勤看護職員の中では、訪問看護の「400万円以上500万円未満(5所)」が最も多く、次いで訪問看護の「300万円以上400万円未満(3所)」、居宅介護支援の「400万円以上500万円未満(2所)」の順に続いています。

常勤介護職員の中では、訪問介護の「200万円以上300万円未満(23所)」が最も多く、次いで訪問介護の「300万円以上400万円未満(7所)」、通所介護の「300万円以上400万円未満(4所)」、通所介護の「400万円以上500万円未満(4所)」の順に続いています。非常勤介護職員の中では、訪問介護の「100万円未満(20所)」が最も多く、次いで訪問介護の「100万円以上200万円未満(7所)」、通所介護の「200万円以上300万円未満(4所)」の順に続いています。

【ケアマネジャー年収(全体)】

(所)

年収区分	1 - 1 ケアマネジャー(常勤)								1 - 2 ケアマネジャー(非常勤)							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
1 訪問介護	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
2 訪問看護	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
3 通所介護	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 通所リハビリテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 認知症対応型通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 認知症対応型共同生活介護	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 特別養護老人ホーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 居宅介護支援	0	2	6	12	8	1	0	1	1	2	5	1	1	0	0	0
合 計	0	2	8	15	12	1	0	1	2	3	5	2	1	0	0	0

【看護職員年収(全体)】

(所)

年収区分	2 - 1 看護職員(常勤)								2 - 2 看護職員(非常勤)							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
1 訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 訪問看護	0	0	0	3	5	1	0	0	2	2	3	2	1	0	0	0
3 通所介護	0	0	1	1	0	1	0	0	0	2	2	1	0	0	0	0
4 通所リハビリテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 認知症対応型通所介護	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0
6 認知症対応型共同生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
7 特別養護老人ホーム	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 老人保健施設	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
9 居宅介護支援	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
合 計	0	0	1	5	10	2	0	0	3	4	7	6	1	0	0	0

【介護職員年収(全体)】

(所)

年収区分	3 - 1 介護職員(常勤)								3 - 2 介護職員(非常勤)							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
1 訪問介護	0	2	23	7	0	0	0	0	20	7	1	0	1	0	0	0
2 訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 通所介護	0	0	1	4	4	0	0	0	2	2	4	0	1	0	0	0
4 通所リハビリテーション	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
5 認知症対応型通所介護	0	0	0	2	1	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0
6 認知症対応型共同生活介護	0	0	3	1	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0
7 特別養護老人ホーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 老人保健施設	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
9 居宅介護支援	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	2	29	15	5	1	0	0	24	14	8	0	2	0	0	0

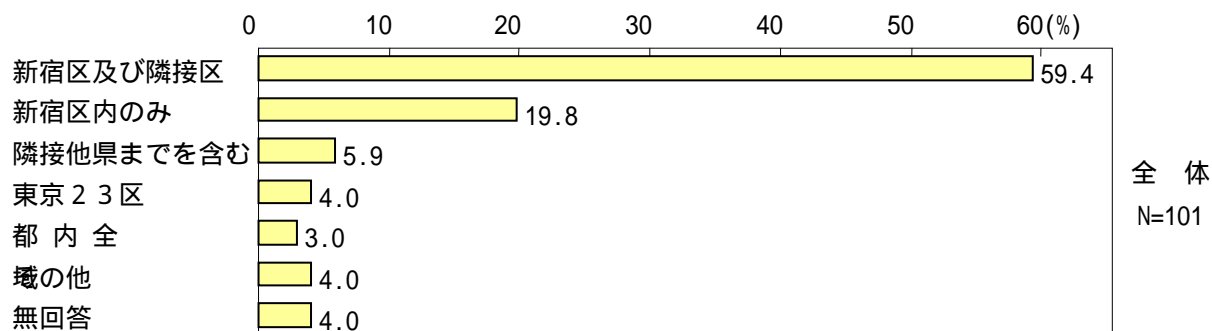
(注)年収区分

1. 100万円未満 4. 300万円以上400万円未満 7. 750万円以上1000万円未満
2. 100万円以上200万円未満 5. 400万円以上500万円未満 8. 1000万円以上

今後4年間に実施予定の事業エリア

「新宿区及び隣接区」が最も多くなっています(問7)

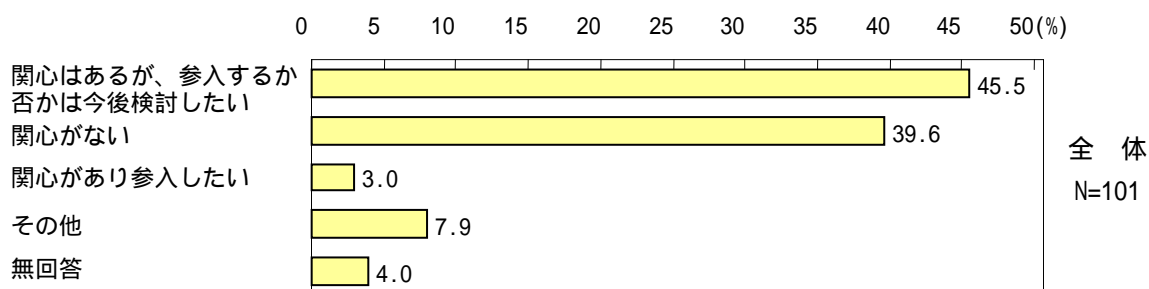
今後4年間の事業規模は、「新宿区及び隣接区(59.4%)」が最も多く、次いで「新宿区内のみ(19.8%)」、「隣接他県(埼玉、千葉、神奈川等)までを含むエリア(5.9%)」の順に続いています。



小規模多機能型居宅介護の参入意向

「関心はあるが、参入するか否かは今後検討したい」が4割を超えています(問9)

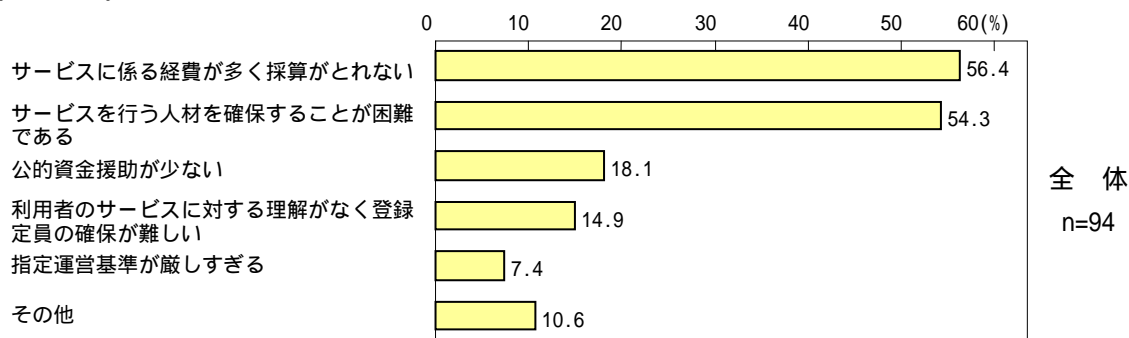
事業所では、小規模多機能型居宅介護の参入意向は、「関心はあるが、参入するか否かは今後検討したい(45.5%)」が最も多く、次いで「関心がない(39.6%)」となっています。



小規模多機能型居宅介護の参入課題

「サービスに係る経費が多く採算がとれない」、「サービスを行う人材を確保することが困難である」が多くあげられています(問9-1)

小規模多機能型居宅介護の参入に障害となる課題について複数回答でたずねたところ、「サービスに係る経費が多く採算がとれない(56.4%)」、「サービスを行う人材を確保することが困難である(54.3%)」がそれぞれ5割を超えています。



人材確保に困っていること

「困っている」との回答が多く、困っている理由は「募集しても集まらない」が最も多くあげられています
(問 10)

人材確保で困っていることについてサービス種類ごとにたずねたところ、「困っている」との回答が多く、困っている理由は「募集しても集まらない」が最も多く、次いで「有資格者や経験者が集まらない」、「離職者が多くなかなか定着しない」の順に続いています。(所)

サービスの種類	困っていない	困っている			
		1. 募集しても集まらない	2. 有資格者や経験者が集まらない	3. 離職者が多くなかなか定着しない	4. その他
1 訪問介護 (n=45)	6	34	9	13	1
2 介護予防訪問介護 (n=27)	4	21	6	7	0
3 訪問入浴 (n=4)	2	2	0	0	0
4 介護予防訪問入浴 (n=3)	2	1	0	0	0
5 訪問看護 (n=12)	2	8	2	1	1
6 介護予防訪問看護 (n=4)	1	3	0	0	0
7 訪問リハビリテーション (n=1)	0	0	1	0	0
8 介護予防訪問リハビリテーション (n=1)	0	0	1	0	0
9 通所介護(デイサービス) (n=16)	4	9	4	1	1
10 介護予防通所介護(デイサービス) (n=13)	3	8	3	0	0
11 通所リハビリテーション(デイケア) (n=3)	1	1	0	0	1
12 介護予防通所リハビリテーション (n=3)	1	1	0	0	1
13 福祉用具貸与 (n=9)	5	1	0	2	1
14 介護予防福祉用具貸与 (n=5)	2	1	0	2	0
15 短期入所生活介護(ショートステイ) (n=1)	1	0	0	0	0
16 介護予防短期入所生活介護 (n=2)	1	1	1	0	0
17 短期入所療養介護(ショートステイ) (n=1)	0	1	0	0	0
18 介護予防短期入所療養介護 (n=1)	0	1	0	0	0
19 夜間対応型訪問介護 (n=3)	1	2	1	0	0
20 認知症対応型通所介護 (n=12)	1	7	5	2	2
21 介護予防認知症対応型通所介護 (n=3)	1	1	1	0	0
22 小規模多機能型居宅介護 (n=1)	0	1	0	0	0
23 介護予防小規模多機能型居宅介護 (n=1)	0	1	0	0	0
24 居宅介護支援 (n=37)	21	4	7	3	5
25 福祉用具販売 (n=9)	5	1	0	2	1
26 認知症対応型共同生活介護 (n=3)	1	2	0	0	0
27 介護予防認知症対応型共同生活介護 (n=1)	0	0	1	0	0
28 地域密着型特定施設入居者生活介護 (n=1)	0	0	1	0	0
29 特定施設入居者生活介護 (n=6)	0	6	2	2	0
30 介護予防特定施設入居者生活介護 (n=3)	0	3	0	1	0
31 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) (n=1)	0	1	1	0	0
32 介護老人保健施設(老人保健施設) (n=3)	1	2	1	1	1

経営状況

「経営が厳しい」との回答が多く、経営が厳しい理由は「介護報酬が低い」が最も多くあげられています
(問 11)

経営状況についてサービス種類ごとにたずねたところ、「経営が厳しい」との回答が多く、経営が厳しい理由は「介護報酬が低い」が最も多く、次いで「人件費の割合が高い」、「利用者が集まらない」の順に続いています。 (所)

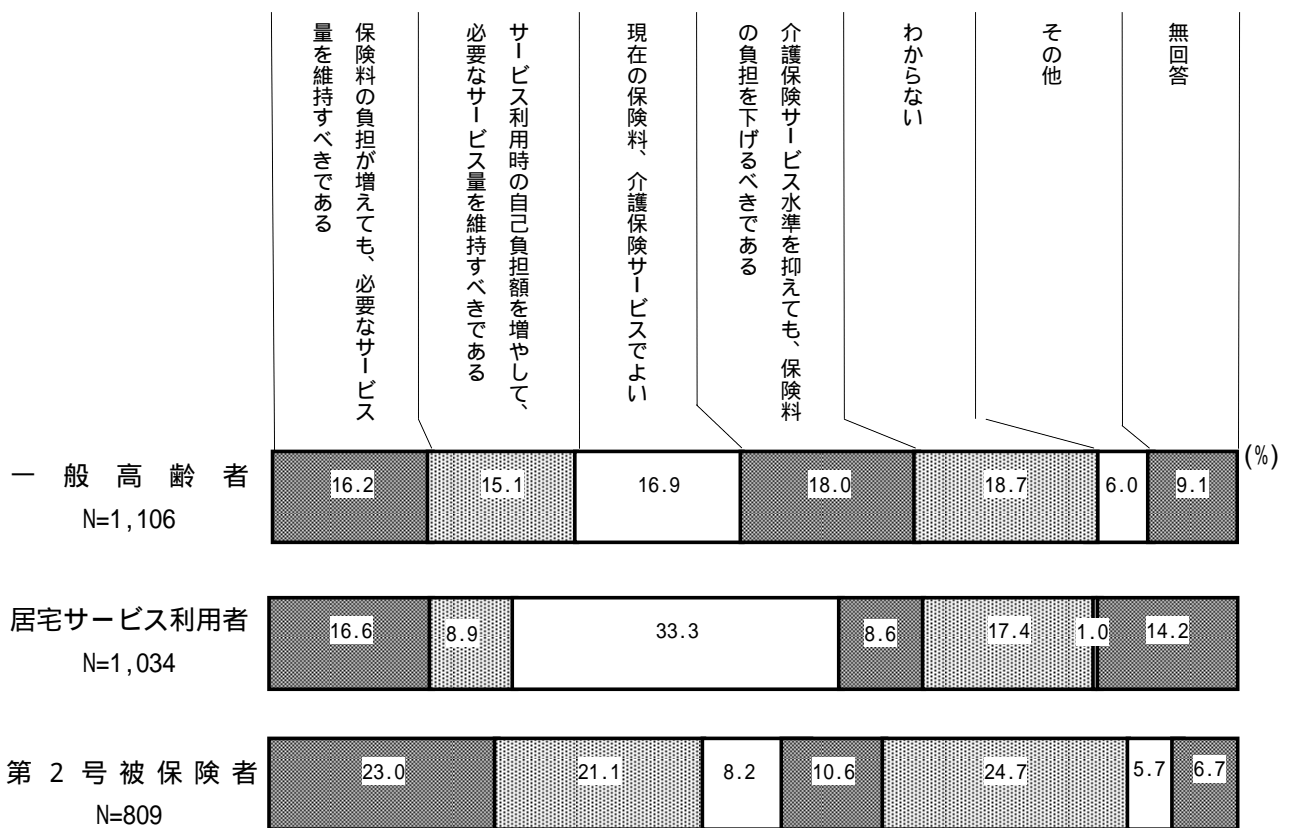
サービスの種類	安定的に 運営が できている	経 営 が 厳 し い				
		1.介護報酬が低い	2.人件費の割合が高い	3.家賃等の事業運営費が高い	4.利用者が集まらない	5.その他
1 訪問介護 (n=45)	3	24	10	3	3	2
2 介護予防訪問介護 (n=30)	1	20	5	1	2	1
3 訪問入浴 (n=4)	2	2	0	0	0	0
4 介護予防訪問入浴 (n=3)	1	2	0	0	0	0
5 訪問看護 (n=12)	1	2	9	0	0	0
6 介護予防訪問看護 (n=6)	2	1	3	0	0	0
7 訪問リハビリテーション (n=1)	0	1	0	0	0	0
8 介護予防訪問リハビリテーション (n=1)	0	1	0	0	0	0
9 通所介護(デイサービス) (n=16)	4	5	1	3	2	1
10 介護予防通所介護(デイサービス) (n=13)	3	6	0	2	1	1
11 通所リハビリテーション(デイケア) (n=5)	0	2	0	1	2	0
12 介護予防通所リハビリテーション (n=3)	0	1	0	1	1	0
13 福祉用具貸与 (n=11)	2	2	4	1	1	1
14 介護予防福祉用具貸与 (n=5)	1	0	4	0	0	0
15 短期入所生活介護(ショートステイ) (n=1)	0	0	1	0	0	0
16 介護予防短期入所生活介護 (n=2)	0	0	1	1	0	0
17 短期入所療養介護(ショートステイ) (n=1)	0	1	0	0	0	0
18 介護予防短期入所療養介護 (n=1)	0	1	0	0	0	0
19 夜間対応型訪問介護 (n=1)	0	0	1	0	0	0
20 認知症対応型通所介護 (n=12)	3	1	1	1	5	1
21 介護予防認知症対応型通所介護 (n=3)	1	0	0	0	2	0
22 小規模多機能型居宅介護 (n=1)	0	0	0	0	0	1
23 介護予防小規模多機能型居宅介護 (n=1)	0	0	0	0	0	1
24 居宅介護支援 (n=40)	3	23	6	1	4	3
25 福祉用具販売 (n=9)	0	2	3	1	1	2
26 認知症対応型共同生活介護 (n=4)	3	0	1	0	0	0
27 介護予防認知症対応型共同生活介護 (n=2)	1	0	1	0	0	0
28 地域密着型特定施設入居者生活介護 (n=1)	0	1	0	0	0	0
29 特定施設入居者生活介護 (n=5)	4	0	0	1	0	0
30 介護予防特定施設入居者生活介護 (n=3)	2	0	1	0	0	0
31 介護老人福祉施設(特別養護老人ホ-ム) (n=1)	0	1	0	0	0	0
32 介護老人保健施設(老人保健施設) (n=3)	0	1	2	0	0	0

調査の比較

介護保険サービスと保険料の負担について

「現在の保険料、介護保険サービスでよい」と「保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである」が最も多くあげられています

一般高齢者調査と居宅サービス利用者調査では「現在の保険料、介護保険サービスでよい」が最も多くあげられています。第2号被保険者調査では「保険料の負担が増えても、必要なサービス量を維持すべきである」が最も多くなっています。

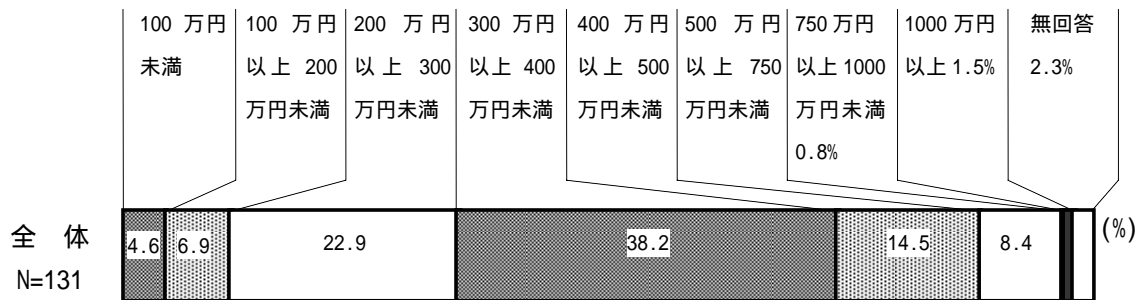


ケアマネジャーの年収

「ケアマネジャー調査」と「介護保険サービス事業所調査」では共に、ケアマネジャーの年収は常勤で「300万円以上400万円未満」が最も多くなっています

【ケアマネジャー調査】

ケアマネジャー調査では、勤務形態は常勤が約8割を占め、年収は、「300万円以上400万円未満（38.2%）」が最も多く、「200万円以上300万円未満（22.9%）」、「400万円以上500万円未満（14.5%）」、「500万円以上750万円未満（8.4%）」の順に続いています。



【介護保険サービス事業所調査】

介護保険サービス事業所調査では、常勤ケアマネジャーの年収は「300万円以上400万円未満（合計15所）」が最も多くなっています。次いで「400万円以上500万円未満（合計12所）」、「200万円以上300万円未満（合計8所）」の順に続いています。

(所)

年収区分	1-1 ケアマネジャー(常勤)								1-2 ケアマネジャー(非常勤)							
	1	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7	8
1 訪問介護	0	0	1	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
2 訪問看護	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
3 通所介護	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 通所リハビリテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 認知症対応型通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 認知症対応型共同生活介護	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 特別養護老人ホーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8 老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 居宅介護支援	0	2	6	12	8	1	0	1	1	2	5	1	1	0	0	0
合計	0	2	8	15	12	1	0	1	2	3	5	2	1	0	0	0

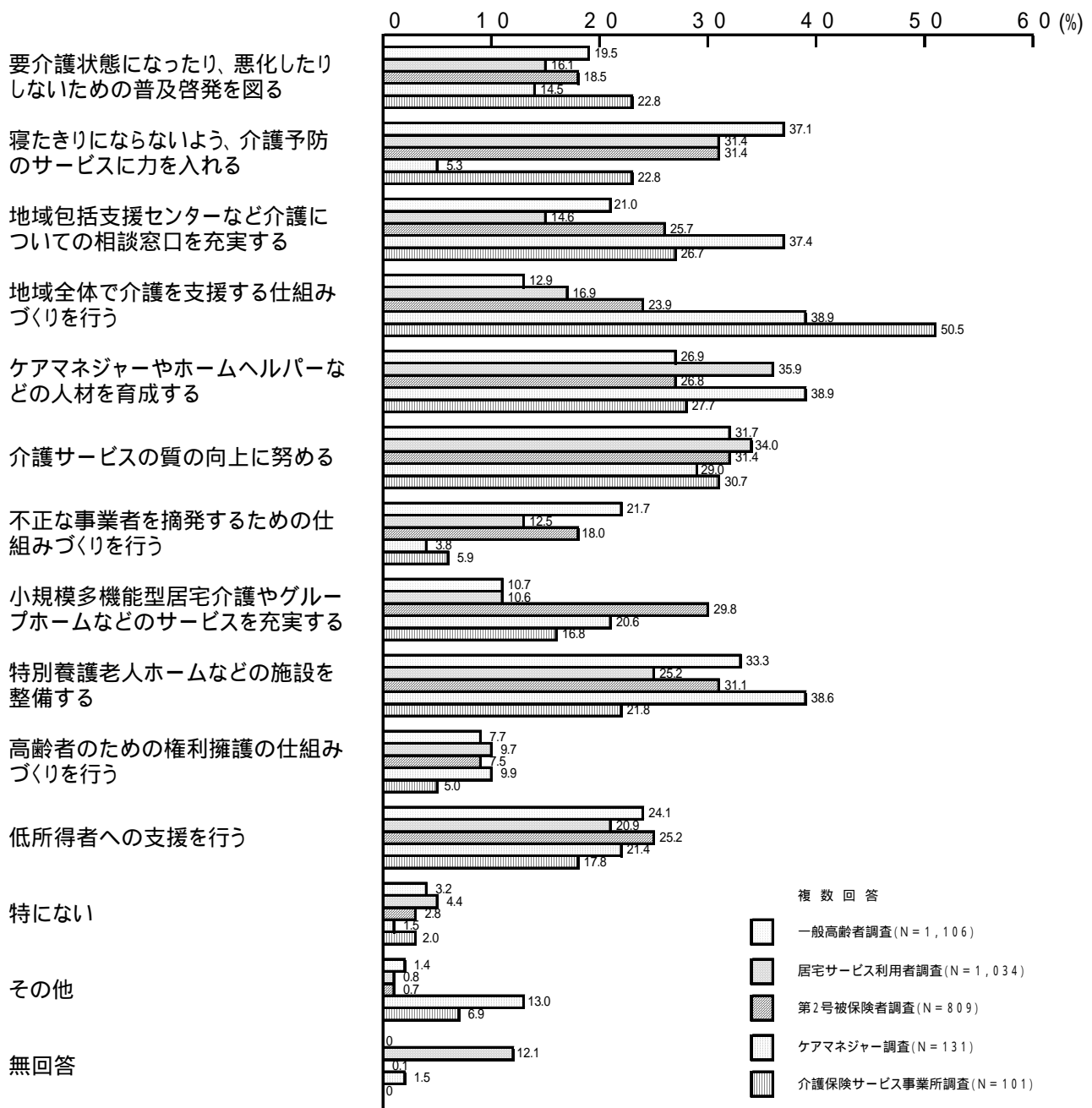
(注) 年収区分

- | | | |
|-------------------|-------------------|--------------------|
| 1. 100万円未満 | 4. 300万円以上400万円未満 | 7. 750万円以上1000万円未満 |
| 2. 100万円以上200万円未満 | 5. 400万円以上500万円未満 | 8. 1000万円以上 |
| 3. 200万円以上300万円未満 | 6. 500万円以上750万円未満 | |

介護保険制度の改善で新宿区に期待すること

「寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れる」、「介護サービスの質の向上に努める」、「ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成する」、「特別養護老人ホームなどの施設を整備する」、「地域全体で介護を支援する仕組みづくりを行う」が多くあげられています

介護保険制度の改善で新宿区に期待することについては、一般高齢者と第2号被保険者では「寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れる」、「介護サービスの質の向上に努める」、「特別養護老人ホームなどの施設を整備する」、居宅サービス利用者では「ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成する」、「介護サービスの質の向上に努める」、ケアマネジャーと事業所では「地域全体で介護を支援する仕組みづくりを行う」、「ケアマネジャーやホームヘルパーなどの人材を育成する」が多くあげられています。



高齢者保健福祉施策調査報告書（概要版）

印刷物作成番号 2007-22-3201

平成20年3月

発行：新宿区健康部計画推進課

〒160-8484 東京都新宿区歌舞伎町一丁目4番1号

・ 03(5273)4604（直）

調査機関：株式会社 社会環境研究所

〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸 3274 番地

・ 044(935)0146